教科用図書選定調査報告

令和６年（２０２４年）７月１６日

中野区立中学校教科用図書選定調査委員会

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	国語	種　目	国語

発行者名	東京書籍株式会社
内　容　等	・朝井リョウさんや原田マハさん、小川洋子さんの新しいものを取り込んで、子どもの心を引く。 ・巻末に思考のヒントを掲載したり、「未来への扉」で、現代的なテーマについて考えることができるよう工夫されている。 ・「未来への扉」の「未来を考えるための９つのテーマ」は、なるほどというところがあった。 ・「未来への扉」で未来を考える、穀物のテーマを示しているのは分かりやすい。 ・魚住りえさんの文章があり、読むことや人前で話すことについての困り事等思い当たることがたくさんあったので、大変参考になる。 ・文章の素材は面白い人を集めているが、説明がその作品にとどまっていて、汎用性がない。そこから広がっていかないような感じになっており、教えやすいのかもしれないが、あまり面白くないのではないかと感じた。 ・定評のある文学的教材で、子どもたちの興味、関心も引き、発展的なものも含めて、授業をしやすい。
構成 分量	・「未来への扉」、「未来を考えるための９つのテーマ」に国語を結びつけていくところは非常に面白い。 ・押さえなければいけないことが表になっており、これをどうやって子どもたちが理解して活用していくのだろうかや、どういうふうに説明するかということは難しいと思うが、こんな力をつけてほしいという教科書の意図は伝わる。 ・読み物が変わると、授業者の教え方が全く変わるが、学習指導要領における国語の「読む」、「書く」をメインに教えるということができる。
表記 表現	・学習テーマの「書くこと」、「話すこと」、「学びを考える」、「読むこと」の色分けが鮮やかなので、分かりやすい。 ・紙面の見やすさや学習の流れを分かりやすくする配慮を感じた。 ・鮮明過ぎて、本より写真が目立ってしまう。
使用上 の便宜	・本文の割合が広く取られて、見やすく、教科書の使い方としても使いやすい。 ・マークで他教科との関連性をしっかりと分かるようにしており、他教科との関連としても非常に使いやすい。 ・漢字をまとめた「漢字道場」や「中学生にお薦め本」、資料として原稿用紙の使い方等の推敲の観点等の資料は使いやすい。 ・キャラクターを使って、子どもたちに親しみやすくしている工夫が感じられた。 ・その単元を学ぶに当たって身につけるべき力等がしっかり書いてあり、見通しを持って進めることができるような教科書である。 ・「てびき」に学び方や学習の進め方が記載されているため、見通しがとても持ちやすい。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードは多く掲載されており、それぞれに見出しがついている。また、漢字の練習、古典の音読等も２次元コードから聞くことができる。 ・何の２次元コードか分かりやすい。 ・デジタルが充実しており、辞書の引き方やイントネーション等が使いやすそう。 ・コンテンツの中に筆者の言葉が動画として入っていて、とても興味深く見ることができる。
特記すべき事項（※）	

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	国語	種　目	国語

発行者名	株式会社三省堂
内　容　等	・「空中ブランコ乗りのキキ」という１年生にすごく良い作品があり、これは中学校１年生の文学の入門にすごく適しているので良い。 ・「漢字のしくみ」等は生徒の関心をさらに高めそうである。資料編としての「読書の広場」は、教科としての国語と社会生活を関連づける良いものである。 ・最近の歌手の歌詞の言葉が入っていて、例えば、１年生で緑黄色社会、２年生でＯｆｆｉｃｉａｌ髭男ｄｉｓｍ、３年生でＹＯＡＳＯＢＩとというものが入っているので、子どもたちの興味、関心はとても引かれる。 ・「語彙を豊かに」というところで、関連づけるものが分かりやすい。 ・物語の「読み方を学ぼう」で、読むこと自体の方法を色々教えていて、とても興味深い。 ・定評のある文学的教材で、子どもたちの興味、関心も引き、発展的なものも含めて、授業をしやすい。
構　成 分　量	・読み物が変わると、授業者の教え方が全く変わるが、学習指導要領における国語の「読む」、「書く」をメインに教えるということができる。
表　記 表　現	・統一されており、使いやすく、色のつけ方も非常に落ち着いていて、見やすい。 ・絵の入れ方がとても斬新で、少し目を引く。特に、古典の挿絵はきれい。 ・きれいだなという印象がある。 ・紙面の見やすさや学習の流れを分かりやすくする配慮を感じた。 ・色がきれい。 ・国語の授業なので、絵師さんが描いた部分というのは、まさに学ぶ部分なので、そこを重視してやってしまっているのは、答えを見せて覚えさせるみたいな感じになっているので、あまり良くないのではないか。 ・鮮明過ぎて、本より写真が目立ってしまう。
使　用　上 の　便　宜	・「学びへの扉」で学習の進め方が明示されているのは、見通しの利く学習への取組として良い。 ・キャラクターがポイントを示しているような工夫がある。 ・何を学んだかが分かるような形であり、特に領域別の教材一覧が最初に書いてあるので、指導をする立場にとっては計画を立てやすい。 ・単元に基づいた「私の本棚」で、色々な本を紹介しており、中学生が興味を持ちそうな感じがとても良い。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードから「まなびリンク」につながるようなスタイルがなかなか興味深い。 ・何の２次元コードか分かりやすい。 ・デジタルが充実しており、漢字ドリルとワークシート等は面白そうだが、最初のほうの物語の「竜」で、１年生の初めのほうで、ストーリーとしてちょっと長めだと感じたが、朗読が前提であることは少々危ないと感じている。朗読と読み聞かせは少々違っており、子ども達は自分で感じることをすごく大事にしている。それとは別に、朗読はここを聞かせたいやこのニュアンスを伝えたいということが載ってしまうことがあるので、それが前提になることは少々怖い。もっと子ども達自身が真っ白な、素の文章だけを読んで感じることを大事にしたほうが良いのではないか。 ・「デジタル漢字ドリル」は、「読む」にも「書く」にもモードを切り換えることができるので学びやすい。
特記すべき事項（※）	

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	国語	種　目	国語

発行者名	教育出版株式会社
内　容　等	・少々厚いなというイメージはあるが、巻頭の加藤周一さんの言葉が入っている等、生徒の興味、関心を引く。 ・古典は、他の発行者と比べると少々難しい。 ・言葉とは、日本語とは、物語とはを知るための、題材における目当てや具体的な振り返りがあり、やりたいことは分かるが、１年生の初めでは少々難しい。 ・津軽弁の詩や照屋林賢さんの詩等があり、照屋林賢さんの翻訳なしの琉球語のものが載っていて、これはすごいという感じがしたが、写真はあまり良くない。 ・定評のある文学的教材等で、子どもたちの興味、関心も引き、発展的なものも含めて、授業をしやすい。
構　成 分　量	・押さえなければいけないことが表になっており、これをどうやって子どもたちが理解して活用していくのだろうかや、どういうふうに説明するかということは難しいと思うが、こんな力をつけてほしいという教科書の意図は伝わる。しかし、厚さが１番あり、持ち歩き等にどうなのか。 ・読み物が変わると、授業者の教え方が全く変わるが、学習指導要領における国語の「読む」、「書く」をメインに教えるということができる。
表　記 表　現	・挿絵は、四角、四角、四角という枠で囲い、オーソドックスなタイプである。 ・文法の説明で、囲みと矢印で、目で見てすぐに確認しやすいのが子どもたちは分かりやすい。 ・紙面の見やすさや学習の流れを分かりやすくする配慮を感じた。 ・「走れメロス」が載っているが、改行が独特なところでされていて、少々読みづらい。 ・縦書き及び横書きが入っていることは、いかがなものか。また、文字の大きさも若干不統一の部分が題材にあった感じがした。
使用上 の便宜	・「学びナビ」は非常に使いやすいが、ページのレイアウトや挿絵の大きさ、文字の大きさは学年ごとに差をつけているが、中学校１年生はこんなに文字を大きくしたりする必要があるのかと感じた。 ・王道である。ただ、王道だからなのか、王道だけどなのかは不明だが、少々重いイメージを持った。 ・単元の前に「学びナビ」ページがあり、学習の目標が分かりやすくて良い。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・何の２次元コードか分かりづらい。
特記すべき事項（※）	

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	国語	種　目	国語

発 行 者 名	光村図書出版株式会社
内　容　等	・古典的な「少年の日の思い出」や「走れメロス」、「高瀬舟」、詩の「初恋」と、自分たちが中学校で学んだものが残っており、伊坂幸太郎さんや瀬尾まいこさん、さくらももこさんと今の若い人に人気のある方をバランスよく配置している。 ・クラシカルなものを鑑賞させるのに良い。 ・語彙力を増やすようなページが充実している。 ・「星の王子さま」は２人の方が翻訳していて、全然内容が違い、読む本によってこんなに違うということが分かって、とても面白い。 ・中学校の勉強で終わらず、これから先へ広がっていく感じがある。本をただ紹介するのではなく、「情報収集の達人になろう」というタイトルで、図書館に行って、こんな本を借りてみようということがまさに国語を学ぶ意義である。 ・小説を読みましょうというところは、作品を読んで、どう思いましたかではなく、伏線の回収等が書いてあるので、小説を書く人の考えがよく分かり、良い。 ・外国文学に関するものも非常につながっており、外国文学や翻訳があるという話があることは非常に意義がある。また、１か所だけ白文で日本語がついていないところがあり、非常に良い。 ・非常に細かいところに色々仕掛けがあり、自分たちが中学生の頃に習った作品が収められているだけではなく、細かいところがすごく行き届いていて良い。 ・定評のある文学的教材等で、子どもたちの興味、関心も引き、発展的なものも含めて、授業をしやすい。 ・スタンダードな教科書で、大きさも非常に落ち着いていて、内容も充実していて、適切ではないか。
構　　成 分　　量	・今、子どもたちの語彙が貧困であるという中で、「語彙ブック」を各学年に散りばめながら、語彙力を高めるのに役立つというところが良い。 ・「語彙ブック」は特徴的であるが、サイズを変えているのは何か意図があるのか。 ・「語彙ブック」が補助教材であり、使用教材との関連づけが良い。 ・「学びへの扉」の構成が面白い。 ・「語彙ブック」はこういう感じでやっていくというところで面白そう。 ・読み物が変わると、授業者の教え方が全く変わるが、学習指導要領における国語の「読む」、「書く」をメインに教えるということができる。 ・資料が目的別で分かりやすく、「語彙ブック」は良い。
表　　記 表　　現	・図や表やグラフ等の資料が非常に分かりやすい。 ・挿絵、図、写真等の色合いも落ち着いていて、本文は非常に読みやすい。 ・学習の進め方の中で、「学びへの扉」のページが国語の教科書としては横書きになっており、そのページだけが少し目を引き、このページではこういうことが書いてあるという意識づけになるので良い。 ・紙面の見やすさや学習の流れを分かりやすくする配慮を感じた。 ・文字が大きく、見やすいが、少々大き過ぎる。

使用上の便宜	・国語の教科書の中でも折り込みのページを使っているが、これの効果というものが実際はどうなのか、授業の中でこの折り込みを開いて使わせていくことがどの程度あるのかと感じた。 ・「学びへの扉」としての学習の流れや「学びのカギ」としてどのように学ぶのかというところを明確に示している。 ・王道のものが入っていて、すごく見やすく良いとも思ったが、何となく見た感じでは重いなというイメージがある。
準拠するデジタル教材の使いやすさ	・何の２次元コードか分かりやすい。
特記すべき事項（※）	・「学習の見通し」でＳＤＧｓの関連が記入されているのが分かりやすい。

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	国語	種　目	書写

発行者名	東京書籍株式会社
内　容　等	・手書きが少ない中で、あえて手書きの意味というものを問い始める導入で、なおかつ「書写のかぎ」を散りばめながら、基礎・基本を押さえている。 ・「見つけよう」、「確かめよう」、「生かそう」ということでの書くときのポイント、学び合うための手だて等が掲載されていた。 ・筆の運びを擬音語で示しており、感覚的に毛筆の書き方を身につけさせようという工夫がある。 ・教材は適切である。 ・字そのものやきれいな字が書けるようになれば良いと非常に推されているが、段階的に高まっている点では良いかもしれないが、生徒から見たら、修業のように感じ、面白くないのではないか。 ・字の形や配列、点画の説明は１番分かりやすい。
構　成 分　量	・巻末の「書写活用ブック」も充実しているので、発展的に捉えていける。 ・「生活に広げよう」で、非常に関心を持ったが、ページ数がやや大きめ。 ・構成は適切である。 ・「書写活用ブック」は様々な字で、実生活に使えそうでとても良い。
表　記 表　現	・書写という作業を伴う教科の中で、ページのレイアウトは良く、見やすく、活用しやすい。 ・見本のサイズが少し小さかったので、半紙と同じが良い。
使用上 の便宜	・指導者が教えやすく、使いやすい部分がある。学習内容が段階的に高まっているのが、すごくはっきりしていて良い。 ・筆のキャラクター等を用いて、子どもたちの興味、関心というところがうまく作られている。 ・基本の点画の書き方で、筆のキャラクターがおり、筆の動かし方に言葉がついているので、子ども達が想像しやすく、書きやすい。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードは、多く掲載されているが、見出しがなく、少々使いづらい。 ・筆の運びを動画を使って見せる工夫がある。 ・「文字を「書く」ってなんだろう」で、１年生で「身につける」、２年生で「使い分ける」、３年生で「使いこなす」という目当てが分かりやすい。また、動画の細かい画面の角度を変えて、こういうふうに書くということをデジタルで自分１人で振り返ることができる。
特記すべき事項（※）	

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	国語	種　目	書写

発行者名	株式会社三省堂
内　容　等	・都道府県名全部を漢字でなぞる教材は良い。 ・自社の国語の教科書で扱われている谷川俊太郎さんの「朝のリレー」を最初の部分に持ってきていることは、非常に関連づけられていて良い。 ・教科書自体が書いて身につけようという考え方で、穂先の動きや筆圧の違いが明示されている。また、お手本が半紙の大きさと同じであるということは、写すとき、何かのときに活用できる。 ・練習がたくさんなぞってできる。 ・硬筆の練習が非常によく設置されている。 ・教材は適切である。 ・説明が簡潔で見やすい。また、練習の量が多くて良い。 ・字そのものやきれいな字が書けるようになれば良いという内容に感じ、生徒から見たら、修業のように感じ、面白くないのではないか。 ・筆遣いについて、説明が分かりやすい。
構　成 分　量	・国語や書写の既習事項を生かした教材というイメージ受け、発達の段階に応じたなぞり書きから清書までの練習がたくさんできるような構成である。 ・構成は適切である。
表　記 表　現	・イラスト等がやや多過ぎるのではないか。 ・毛筆は教科書に書き込むことは難しいので、半紙を用意して、そこに書くが、横に置いたお手本が半紙と対応しているのは、よりユニバーサル的である。 ・「文字の移り変わり」について、昔の字の形ができたところから現代の字になるところまでは各発行者の中で見やすかった。
使　用　上 の　便　宜	・書いて身につけようという趣旨で、各教材が見開きで、見やすくなり、学習目標がしっかりと明示されていた。 ・お手本が半紙と同じ大きさだというところは使いやすい。 ・学年ごとに目次で示されたり、学習活動が進めやすい。 ・教科書の大きさが違う。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードが多く掲載されており、見出しがあるので使いやすい。 ・トップの一覧があるのがとても見やすく、使いやすくて良い。また、はがきを実際に書けるコーナーもあり、そちらも実生活に発展しやすくて良い。
特記すべき事項（※）	

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	国語	種　目	書写

発行者名	教育出版株式会社
内　容　等	・導入がとても丁寧で、学ぶ内容、進め方、基本がしっかりとまとまっていた。 ・金子みすゞさんの「ふしぎ」を教科書のほうは活字で、書写は硬筆でやっている関連づけは非常に良い。 ・「生活に生かそう」というコラム等は、書写がさらに広がっていく学習ができる。 ・振り返りの欄があったり、「考えよう」、「話し合いメモ」等の書くためのポイントを考えたり、学びを深めるための手だてがある。 ・教材は適切である。 ・中学校の範囲を超えているかもしれないが、アートとしての書道という感じが非常にしている。短冊や色紙を書いたり、「竹取物語」一節を書くにしても、自由に書いたり、行書で書いたりできる工夫がある。また、「あの人が残した文字」にも非常に興味を持つのではないか。また、「日本建築と「書」」等もあり、将来デザイナーを志す生徒がいたら、これを見ることは非常に有益である。 ・部首索引より５０音順のほうが引きやすいのではないか。 ・王道で良いのではないか。
構　成 分　量	・ポップやポスター作製等について、書写のイメージである字を上手に書くというところが、目的や対象を考えながら、日常生活や社会生活に生かせるように感じた。 ・構成は適切である。 ・文字の役割から、どうして読みやすいのか、伝わりやすいのかということを可視化していて、それを学ぶ展開、学習の進め方は分かりやすい。
表　記 表　現	・姿勢、用具の使い方が、写真が多く細かく示されていて、文字を書く以前のところにも力を入れている。 ・筆圧の違いを写真を用いて比較している。 ・行書の筆遣いで、筆の穂先の動かし方を手のイラストで分かりやすく説明しており、また違う表現の仕方と思って興味を持った。 ・筆圧の違いを１から３の３段階の数字で表していて分かりやすい。
使用上 の便宜	・幅が広くてゆったりとして見やすいが、机の上に置いたときにどうか。 ・本のサイズの違いを生かしているところが良い。 ・ウサギのキャラクターがあって、子どもたちにとっては非常に面白い。 ・「あの人が残した文字」で、著名の方の昔の字があることは資料になるので良い。 ・「書写テスト」でポイントを確認できるのは良い。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードは多く掲載されているが、コードに見出しがない。
特記すべき事項（※）	

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	国語	種　目	書写

発行者名	光村図書出版株式会社
内　容　等	・３年生の最初に手書きのよさを考える漫画教材があり面白い。 ・「防災フェスタをひらこう」や「職業ガイドをつくろう」で、目的・対象を考えながら、日常生活や社会生活に生かす教材等があり、非常に使い勝手が良い。 ・教材は適切である。 ・スタートが文字を分解する、文字自体への興味を引く、理解するという形が特徴的で面白い。 ・行書の活用やポスター等でフォントを見つける箇所があり、３年生では、フォントを使い分ける効果を記載している。また、入学願書の書き方等もあり、どこも実生活に展開していく流れがとても工夫されていた。 ・巻末に「人名用漢字表」があり、ふだんは自分の名前を教えてもらう機会はなかなかないので良い。 ・字そのものやきれいな字が書けるようになれば良いという内容に感じ、生徒から見たら、修業のように感じ、面白くないのではないか。 ・毛筆の筆遣いが９種類あることをまとめて、それが説明してあることは良い。筆順について、筆順の原則や「間違えやすい筆順」という項目があり、その説明をしているところは良い。また、文字に様々な形があることの説明は分かりやすい。
構　成 分　量	・補助教材としての「書写ブック」は面白い。身につけた力が確認できるようになっている。 ・構成は適切である。
表　記 表　現	・ゆったりとした紙面で、イラスト等があって、すごく見やすい紙面である。 ・毛筆で、薄墨で筆のタッチを表現していたところが、力を入れる部分、抜く部分である等が非常に視覚的に見やすい。 ・「手書きのよさって、何だろう」と漫画で描いてあるのは、最近はパソコンやタブレットで生活している中で、手書きの良さを知ってもらうために良い。
使　用　上 の　便　宜	・別冊の「書写ブック」は大人になっても持ち運んで使える。 ・別冊の「書写ブック」は非常に良いアイデアで使いやすい。 ・お手本が半紙や書き初めの大きさと同じというところもなかなか興味深い。 ・筆の運びを擬音語で感覚的に理解させるたり、穂先の動きをきちんと見ている部分やお手本の右側に筆順が書いてあるので、だんだん自分でできるような工夫がされている。また、お手本が半紙や書き初めの紙と大きさになっているというところも使いやすい。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードが多く掲載されており、見出しもつけられている。また、右利き用、左利き用の動画があるのが面白い。
特記すべき事項（※）	

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	社会	種　目	地理的分野

発行者名	東京書籍株式会社
内　容　等	・単元のまとめ、振り返りで多様な思考ツールを活用でき、コラムが多く配置されているので、非常に好感が持てる。 ・まとめのツールのようなものが、こういうふうにまとめていったり、こういうふうに深めていったりすることがよく分かる。 ・思考、判断、表現の育成につながる部分が少し高度である。高度であるが、対話的な学びが促される補助発問などが少ない。 ・「まとめ」ゾーンが明確で、活用しやすい。 ・思考ツールの使用例が示されているため、単元でのまとめに活用できる。 ・「世界の食事を見てみよう！」が、その土地の特徴や流通、あるいは経済、宗教等に広がり、理解につながる。 ・野球やダンスをはじめとする生徒の興味を持たせるような内容があるが、そこまで掲載する必要はあるのか。
構　成 分　量	・目次のすぐ次に、学習は、課題をつかむ、追求する、それから解決するということを示した後で、地理は「５つのミカタ」をやるということで、「位置や分布」、「人と自然のかかわり」、「場所」、「地域」、「結び付き」を説明していることは、導入として子どもたちに、これはこういう学習をするということが分かりやすい。
表　記 表　現	・資料の写真や本文のバランスが少し悪かった。 ・単元ごとに配色を変えるという工夫がある。 ・地図や写真などがやや小さめ。 ・地図や図は見やすい。 ・文字の部分とグラフつきの図の部分の背景色が分かれていて、とても分かりやすい。 ・どことどこが対応しているのかがよく分からないような写真が載っていて良くない。
使　用　上 の　便　宜	・知識の詰め込みにならないように、それぞれの発行者ごとの工夫があった。 ・学習の流れの見える化ということで、生徒が教科書を使って自習をしていくプロセスが分かりやすく、自分でも学習しやすい。 ・「世界の食事を見てみよう！」が家庭科や学校給食につなげられる。 ・ワードチェックの問題形式になっており、自宅でも楽しく学習できるようになっており、とても良い。 ・昼間人口と夜間人口の比較が地図入りで載っており、他区の人の動きや自分の住む場所はこういうところに位置づいていることが示されており、子どもは興味を持てる。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードから発展していけるような工夫になっていたことが良い。 ・２次元コードが適切である。 ・２次元コードは非常に充実している。 ・２次元コードの活用場面が明確ではない。
特記すべき事項（※）	・ＳＤＧｓ的な視点が全体を通していた。 ・表紙を開くと、「世界の食事を見てみよう！」という子どもが入りやすい視点から、その次をもう１回めくるとＳＤＧｓ関連に入る。特に第４章で、ほかの教科書は「地域の在り方」としているが、あえて「持続可能な地域の在り方」という章を設定して、そこで深く掘り下げるような工夫がある。

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	社会	種　目	地理的分野

発行者名	教育出版株式会社
内　容　等	・コラムが豊富で、ＥＵの問題やウクライナ、生態系の危機などの現代の課題をきちんと取り上げている。 ・導入、本文、まとめという学習の流れはあるが、思考力や判断力を深めるには東京書籍と比べるとやや劣る。 ・思考、判断、表現の育成につながる部分が少し高度である。高度であるが、対話的な学びが促される補助発問などが少ない。 ・日本に対する内容がしっかり書かれていて、とても良い。 ・町工場やオリンピックの開催地等を掲載するだけになっており、あまり本質的でなく、結果から原因を推測するような形になっていない。 ・世界地図を一筆書きする内容が面白い切り口と思った。
構　成 分　量	・学習課題について、単元ごとに単元の問いに対して分かりやすいのでとても良い。
表　記 表　現	・日本列島の衛星地図が大きく見開きで示されて、視覚的に訴えるものがある。その前後に、例えばオリンピックの開催地の共通点や日本の世界遺産の分布等、子ども達が身近に感じられるような課題を取り上げて、そこから多面的・多角的な見方を育む意図が感じられた。 ・ページ内の資料等の扱いについて工夫されており、文字と資料とのバランスがどのページも統一されている。 ・単元ごとに配色を変える工夫がある。 ・地図、統計資料、写真が小さい。 ・シンプルで、見やすくて、写真が大きい。 ・写真や図の資料が多く、若干であるが、字間が少し広めに感じて、読みやすい。読むスピードと理解するスピードは異なると思うが、ちょうど良い。 ・フォントがとても見やすい。 ・どことどこが対応しているのかがよく分からないような写真が載っていて良くない。
使用上 の便宜	・知識の詰め込みにならないように、それぞれの発行者ごとの工夫があった。 ・資料欄が多くて分かりやすい。ただ、余白が多くなっており、書き込む内容が難解になっているため、余白を生かし切ることができないことが残念である。 ・本の使い方が、自主学習をしやすい工夫を感じられて良い。 ・「地域にまなぶ」という副題があり、そういう観点で作られている。また、衛星写真の隣に伊能忠敬の地図が載っており、伊能忠敬の歩いて作った地図と衛星写真の地図が似ている様子が、子どもの興味を引く。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードから発展していけるような工夫になっていたことが良い。 ・２次元コードが適切である。 ・振り返りのページにしか２次元コードがない。 ・２次元コードの活用場面が明確ではない。 ・２次元コードが、地理的分野だけではなく、歴史や公民も「まなびリンク」とで、全てが同じように並んでいるのですごく見やすい。章ごとに語句を使ったクイズがあり、解き直しがしやすい。間違ったところ、苦手というところの項目があって、自宅等でもう１回解き直しができるのは良い。
特記すべき事項（※）	・ＳＤＧｓとの関連を意識した部分はある。

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	社会	種　目	地理的分野

発行者名	株式会社帝国書院
内　容　等	・節の終わりに主体的な学びに関する振り返りが設定され、深い学びにつながる。 ・本文、資料が分かりやすく、特設ページ、コラムが非常に豊富で充実している。 ・地図のクイズが楽しそう。 ・「未来に向けて　よりよい社会を目指して」を副題にし、こういう立場で学習していくことを子ども達に示している。地域の違いということを緯度と経度、それから、時差というもので考えようというような記述があって、考え方として面白い。
構　成 分　量	・単元ごとのまとめが非常にうまくされている。 ・文章の量と資料の量が、学習指導要領で示されている中学校の段階で適切である。 ・地図帳との兼ね合いや伝統のある教科書で良い。
表　記 表　現	・人々の暮らしぶりが見える写真やイラスト、あるいは地図がふんだんに使われて、生徒は視覚的に学びやすい。 ・地図や資料の扱い方について、適切かつ精選されている。 ・写真等の見やすさや分かりやすさが最も適している。 ・配色を変えるという単元ごとの工夫そのものが良い。 ・写真への注釈等が丁寧に書いてある。 ・写真資料が充実しているが多いので、地図や写真が小さくなっている部分もあったり、絵図等工夫されたりしている資料もあった ・背景に色を多用していないため、グラフや図や写真がとてもきれいに見えて、シンプルで見やすく、楽しく学べそうである。 ・京都の二寧坂を無電柱化等、新旧を全く同じアングルから撮っていて、ものすごく分かりやすい。
使用上 の便宜	・知識の詰め込みにならないように、それぞれの発行者ごとの工夫があった。 ・旅行者の数の変化や特産物を紹介するところは分かりやすく、「旅行者」という表現も子どもが興味を持ちやすく、面白い。 ・思考ツールの紹介が面白い。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードから発展していけるような工夫になっていたことが良い。 ・２次元コードが適切である。 ・２次元コードのコンテンツが非常に充実し、資料やワークシート等も活用できる。 ・２次元コードが学習上必要な箇所にあるので、活用しやすい。 ・独自サイトのＧＩＳジオグラフが特に面白い。ただ、ステップが多く、ゴールにたどり着くまで少々てこずる。
特記すべき事項（※）	・表紙を開くと、大きく取り上げながら、よりよい社会を目指すという意識を育もうという意図がある。 ・探究活動もやっていこうというところが最後にあるのは良い。 ・練馬区の地域調査課題が具体的に載っていて、中野区も同様にやれるようになっている。

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	社会	種　目	地理的分野

発行者名	日本文教出版株式会社
内　容　等	・単元の問いに対して多様な思考ツールを用いて深めることができる。 ・導入、本文、まとめという学習の流れはあるが、思考力や判断力を深めるには東京書籍と比べるとやや劣る。 ・思考、判断、表現の育成につながる部分が少し高度である。高度であるが、対話的な学びが促される補助発問などが少ない。 ・電動キックボードがすばらしいものだという意見や多摩市制５０周年イベントに関する議論について、肯定的な意見しか掲載されておらず、行政がやることは全部すばらしいということを地理の教育を通して押しつけようとしているのではなかろうかということを感じた。 ・「持続可能な社会と私たち」という副題がついていて、それが口絵にもなっている。また、なぜそうなったのかを学ぶ地理という教科を説明している。
構　成 分　量	・教科書の構成や、学ぶ流れも丁寧である。
表　記 表　現	・やや文字が多い。文字と資料との扱いのバランスは良いが、文字が多めということは生徒に抵抗感が出てしまうのではないか。 ・単元ごとに配色を変える工夫がある。 ・資料や統計、地図、写真などはあまり見やすくない。
使　用　上 の　便　宜	・知識の詰め込みにならないように、それぞれの発行者ごとの工夫があった。 ・思考ツールの活用例が示されているので、使用上の便宜としての問題点はない。 ・冒頭の「地理的考え方、読み取りのポイント」が、何を勉強したらいいかということが分かりやすく良い。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードでポートフォリオという章が必ずあり、学習の見通しを立てたり、まとめたり、振り返ったりすることに役立つ。 ・２次元コードから発展していけるような工夫になっていたことが良い。 ・２次元コードが適切である。 ・２次元コードの活用場面が明確ではない。 ・２次元コードで、単元ごとの小テストが５問必ずついており、やり直しができるため、自宅学習で活用ができる。 ・１番充実していると感じ、独自サイトでワークシートや小テスト、シミュレーションができたり、必要に応じて外部サイトもあったりするので、使いやすい。 ・２次元コードは、ボートフォリオを用いて、どういうことを学べばいいかということ、自分で学習をまとめる等をすることが分かりやすそうで良い。
特記すべき事項（※）	・３番目にＳＤＧｓについての視点を貫いていると感じた。また、日本や世界の中で今起きている出来事、例えば環境の問題や揺れ動くヨーロッパ社会等を取り上げながら考えさせるような工夫があった。 ・各国のＳＤＧｓの課題が分かりやすく、学びやすい。

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	社会	種　目	歴史的分野

発行者名	東京書籍株式会社
内　容　等	・様々な思考チャートやグループ活動を推奨するような場面が明記されており、歴史ということで、今の自分の生活との対比や今後の学びに向けてというところにも触れることはとても良い。 ・日本の歴史や日本のその時代の出来事と一緒に、その時代にほかの国はどうだったのかという年表が一緒になったのがまとめとしてあるので、両方を順番に学んでいる子どもたちには、一緒になったものが提示されていることは分かりやすい。 ・基礎的な学習の習得につながるような用語が分かりやすく説明されている。 ・単元ごとに学習課題が明確で、学習した後に「チェック＆トライ」で振り返り、学習の定着が図れる ・大和朝廷がナショナル・アイデンティティーのために、「古事記」、「日本書紀」、「万葉集」、「風土記」を書いたということを明言していることは非常に良い。 ・鎌倉幕府の成立に関する所説を他の発行者と比べ、詳しく説明している。
構　成 分　量	・学習の流れが分かりやすい。 ・歴史、世界のこと、日本のことを満遍なく学ぶ、初めて学んでいくという部分では、バランスよく配置をされている。 ・資料が充実していて、それを活用することが授業者としてはしやすいが、分量は小学校に寄っており、中学生の発達の段階に応じた分量としては少ない。 ・章の始めに課題があることが分かりやすい。
表　記 表　現	・見開きページの写真と文字のバランスがしっくりこない。 ・資料の色遣い、それから、ルビ振りなどがあって、非常に読みやすく、見やすい。 ・教科書の余白が多く、何を学習しているのかが明確でない。立体図などは見やすく工夫されているが、余白が少々多い。 ・コロンブスの絵のキャプションに、「この絵は、先住民の当時のヨーロッパ人の偏見を反映して描かれています」という資料の見方がきちんと書いていて、非常に中立的かつ科学的な態度で良い。 ・振り仮名がたくさんあり、行間が読みづらく、子ども達が理解できるのだろうかと感じる。 ・表紙のオリンピックの写真は良くないのではないか。
使　用　上 の　便　宜	・子どもたちの興味、関心をいかに高めることができるか、興味、関心を誘う内容かということで考えると、総合的に指導のしやすさ等を感じた。 ・年表をめくることで確認でき、時代等の色々なことが示されていて、分かりやすい。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードについては、基礎的な内容からまとめ方というような部分などが豊富にそろえられている。 ・ワークシートで、話合いへの案内やクイズ、ズームのできる絵があり、自主学習に活用できる。 ・デジタルツールのパートチェックが問題形式になっていて、楽しみながら学習でき、コンテンツも見やすい。
特記すべき事項（※）	・「みんなでチャレンジ」で、個人で考えるところとグループで考える内容になっていて、探求課題として課題の一覧になっているところもあって学習しやすい。 ・「みんなでチャレンジ」は、グループで話し合うような対話的な学びのコーナーがあってとても良い。

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	社会	種　目	歴史的分野

発行者名	教育出版株式会社
内　容　等	・日本の歴史や日本のその時代の出来事と一緒に、その時代にほかの国はどうだったのかという年表が一緒になったのがまとめとしてあるので、両方を順番に学んでいる子どもたちには、一緒になったものが提示されていることは分かりやすい。 ・「西洋文化と伝統文化」で、夏目漱石と樋口一葉の写真があるだけでなく、作品の冒頭の部分が紹介されているのは良い。 ・ほかの教科との視点で理解を深めるという感じで、ペリーの来航だと、文字の資料等で、現代文と古文の違いの対比ができて、とても面白い。 ・憲法の制定の過程について、植木枝盛さんの話や十分な議論がなされたこと等の話が合っていて、非常に正しい歴史認識なのではないかと思った。
構成 分量	・ページ内のバランスは非常に良く、授業もスムーズに進んでいくのではないか。 ・歴史、世界のこと、日本のことを満遍なく学ぶ、初めて学んでいくという部分では、バランスよく配置をされている。 ・章の始めに課題があることが分かりやすい。
表記 表現	・写真や図が非常に多く、色分けもはっきりして、分かりやすい。 ・太字のゴシック体が見やすく、何が重要なのかが分かりやすい。 ・写真が多くて、見やすい。 ・時代スケールが横位置で見やすい。 ・振り仮名がたくさんあり、行間が読みづらく、子ども達が理解できるのだろうかと感じる。
使用上 の便宜	・各項目の同じ位置に年表があって、見通しが見やすく、人々の生活の様子、時代の様子を捉えやすい。 ・見通し、学習内容、まとめが明確に示されている。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードは、動画があって、分かりやすいところもあるが、補足的なイメージで、これからに期待する。 ・章の始まりについて、まとめ関連ページへの案内として自主振り返りに良い。
特記すべき事項（※）	

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	社会	種　目	歴史的分野

発行者名	株式会社帝国書院
内　容　等	・「タイムトラベル」という項目が随所にあり、歴史の捉え方を面白い視点で捉えている。歴史を記憶として扱うのではなく、テーマごとに扱っていると思った。学習の仕方を学ばせる、考えを整理する方法というものが出てきていて、子どもたちが歴史を見る中で、こういう視点で考えていくと良いという１つの方法を示している。 ・時代のまとまりごと、あるいは、対話的な学びの場面、そういう特色をまとめるようなページがところどころにあった。 ・人権に対する配慮の描写が示されているというところは、カリキュラムとしてできている。 ・「未来に向けて　人権・多文化」というコラムがあって良い。 ・憲法の制定の過程について、植木枝盛さんの話や十分な議論がなされたこと等の話が合っていて、非常に正しい歴史認識なのではないかと思った。
構　成 分　量	・歴史、世界のこと、日本のことを満遍なく学ぶ、初めて学んでいくという部分では、バランスよく配置をされている。
表　記 表　現	・資料が大きく、見やすく、イラストや図の色分けなどが明確でとても良い。 ・全体の見やすさがある。 ・写真や資料が大きく、クリアで見やすい。 ・振り仮名がたくさんあり、行間が読みづらく、子ども達が理解できるのだろうかと感じる。
使　用　上 の　便　宜	・「タイムトラベル」が、生徒の興味・関心を高めるものとして、実際に自分がその時代に行ったらということでの工夫が感じられる。 ・年表をめくることで確認でき、時代等の色々なことが示されていて、分かりやすい。 ・イラスト等で単元の見通しを持てるように工夫されている。 ・「タイムトラベル」で見通しを持たせている。 ・世界の歴史についての見通しが１５０ページ、１６８ページに掲載されていて、広い視野から活用できる。 ・導入として、細かいが分かりやすい使い方が良い。 ・思考ツールを使用して考えをまとめるということで、思考ツールがいろいろあり、ツールの使い方も動画で分かりやすい。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードは、教科書の１部のページをデジタルで見ることができるというような内容なので、深い学びにつながるまでには感じられない。 ・１番目的別になっていて、行きたいところにすぐ飛べて、分かりやすく、使いやすい。 ・「まとめ」ページで、自分でマーカーをつけて完成させるというものが面白い。小テストではなく、マーカーをつけて自分で完成させる資料という振り返りに良い。
特記すべき事項（※）	・探究課題が明確に示されている。 ・「アクティブ歴史」の学習の振り返りで、重要だと思ったことをグループで話し合うこと、話合いで気づいたことを踏まえて自分の考えをまとめるということで、振り返りが充実している。

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	社会	種　目	歴史的分野

発行者名	株式会社山川出版社
内　容　等	・「地域からのアプローチ」が、その歴史と日本との関係というものが関連づけて捉えられたりするような取組がされていて良い。 ・ハイレベルである。教えるべき内容は書いてあるが、プラスアルファの内容がベースになっており、高校の学習内容に近い。 ・教科書の内容だけでなく、「ステップアップ」という項目で、より主体的に考えを深めるという課題は良い。 ・憲法の制定の過程について、植木枝盛さんの話や十分な議論がなされたこと等の話が合っていて、非常に正しい歴史認識なのではないかと思った。
構　成 分　量	・時代ごとにある「地域からのアプローチ」というところについては興味を引く内容を感じたが、文章量が非常に多く、中学生には難しい印象を受ける。 ・バランスは良いが、文章量及び情報量がすごく多い。
表　記 表　現	・資料が少ないという部分があり、文章と合わないような部分もあるというふうに感じた。 ・表紙がほかとは違い独特な感じがし、あまり歴史っぽくない感じがする。紙面がすっきりしていて見やすいが、情報量が多い。
使用上 の便宜	・テーマタイトルとテーマで、考えてほしい課題が明確である。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードについて、補足的なイメージを感じた。 ・２次元コードはあるが、見てもらいたい資料を読み込むと、「山川＆二宮ＩＣＴライブラリ」に入り、資料だけで解説がなく、子どもたちはどう捉えたらいいのか困惑する。 ・調査をした後のレポートのまとめ方や発表の仕方に重きを置いている。 ・「地域からのアプローチ」、「歴史を考えよう」のまとめについて、まとめ関連ページへの案内として自主的な振り返りに良い。
特記すべき事項（※）	

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	社会	種　目	歴史的分野

発行者名	日本文教出版株式会社
内　容　等	・「先人に学ぶ」、「伝統と文化」というところで、生徒間だけではない対話的な学びが促されている。 ・確認小テストが分かりやすくて良い。
構　成 分　量	・歴史、世界のこと、日本のことを満遍なく学ぶ、初めて学んでいくという部分では、バランスよく配置をされている。 ・単元ごとに何を学ぶのかが分かりやすく、章ごとに大きいサイズの資料があって、見やすい。
表　記 表　現	・教科書のページ内の周囲の資料と文字の境が非常に見づらく、文字が多い。落ち着いて見ていられないようなアンバランスを感じた。右脇に年表が書かれており、その時代と今学習しているところの位置関係が分かりやすく示されている。 ・資料の数があり、見やすく、大きい。また、色の使い分け、こちらもよく分かりやすくできている。 ・色が見やすい。文字が大きくて、学習者（生徒）が読みやすい表記をされている。 ・見開きの右側に時代、世紀の表が表示されていて、学習しているところの単元にだけ色づけがされているので、今はどの時代かということが子どもたちは見やすい。
使用上 の便宜	・２１４ページに「近代の雑誌の表紙」があり、単元の冒頭には歴史に対する興味、関心へとつながる資料が掲載されているので、生徒の興味を引きやすい。 ・導入として細かいが、分かりやすい使い方が良い。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードでは、確認小テストなどができるので主体的な学びの部分で使える。 ・ポートフォリオや動画でフォローするような内容である。また、フィールドワークについて、調べ方のパターンが多く、フィールドワークを体験するということを特に押し出している。
特記すべき事項（※）	・単元ごとに探究課題が出されているため、探究的な学びを個別に進められるという工夫がされている。

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	社会	種　目	歴史的分野

発行者名	株式会社自由社
内　容　等	・神話の部分を扱っており、いろいろな意見が出てくるのではないか。 ・復習問題のページなども用意されていて、基礎、基本の習得は非常に良くできる。 ・神話に関する記述というところで、バランス的には偏りが少しある。 ・「人物クローズアップ」のコラムで、調べ学習の資料としては充実しているが、「歴史用語ミニ辞典」の作成、時代比較、人物比較、「ひとこと」作文２００字以内は、振り返りの課題は全てやらないにしても多い。また、中学校１年生のときからこれはちょっと難しいのではないか。 ・歴史の捉え方が良い。 ・歴史用語を３つの文で説明する「歴史用語ミニ辞典」を作るというものがとても良い。覚えるだけでなく、考えるということができて良い。 ・神話と歴史を最初にごちゃ交ぜに書いている。 ・戦争が間違っていなかったと言いたいのではないかというふうに読み取れる。
構　成 分　量	・情報量が多過ぎて、子どもたちは読み通さないかという印象がある。
表　記 表　現	・資料や文字の大きさ、写真が非常にシンプルで見やすい。 ・読みやすい表現が用いられているが、図が多くないため、イメージを持たせるためには、授業における工夫が必要になる。 ・地図の資料が多い。
使用上 の便宜	・「もっと知りたい」というコラムは歴史をさらに深く考えるという点では面白い。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードがない。
特記すべき事項（※）	

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	社会	種　目	歴史的分野

発行者名	株式会社育鵬社
内　容　等	・「学習のまとめ」というページの扱い方が面白かった。 ・単元ごとに基本的な学習内容の確認、学習内容をさらに深く探究する学習方法で、定着しやすい。 ・グループでの話合いや調べる、対話的な「トライ」というコーナーもあるので良い。 ・４年前と比較して、内容がマイルドになったが、歴史や国家というものをどう考えるかが根本的に間違えている。 ・鎌倉幕府の成立について、説明が異なるのではないか。 ・戦争が間違っていなかったと言いたいのではないかというふうに読み取れる。
構成 分量	・全体的な分量は適切かと思ったが、学年段階に応じた量にはなっていない。１年生、２年生、３年生というような量にはなっていないという印象がある。
表記 表現	・日本の古代の資料の写真の点数等はすごく多く、日本の歴史を中心に置きながら、世界の歴史との関係をバランスよく持っていくと感じた。 ・表現としては読みやすいが、図や事例が少ないということが感じられた。 ・グラフ的資料が多い。
使用上 の便宜	・キーワードについて、言葉の下にほかの関連ページが書かれており、ほかの時代やほかのページとの関連が容易につけられる工夫があるのは良い。 ・左ページ下に年表が書かれていて、その時代と、歴史の中でどういう位置づけなのかということを学習しながら捉えていける工夫がある。 ・資料の提示が多く、学習課題について調べ、追求するような活動を行いやすいような配慮を感じた。 ・世界史の内容を入れるページなども時系列で配慮されているところから、世界と日本の歴史の対比などについても非常に興味深く感じられる。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードについて、非常に内容が発展的であったので、難しさも感じるが、歴史が好きな生徒にとっては非常に興味深い内容になる。 ・章の始まりに歴史絵巻の２次元コードがついているが、外部リンクにつながっているだけの資料という感じがする。 ・「歴史ズームイン」、「やってみよう」について、まとめ関連ページへの案内として自主的な振り返りに良い。
特記すべき事項（※）	

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	社会	種　目	歴史的分野

発行者名	株式会社学び舎
内　容　等	・女性問題等の現代的な問題を取り上げ、それが歴史と公民のつながりになると感じる。 ・章の振り返りで、年表の穴埋め問題、語群から選ぶ内容であるが、白地図があって、書き込むようにもなっていて、その場所に何があったかということを自分で確認できるようになっていたところは良い。 ・日中戦争のところのイラストの顔が教材として適していないのではないか。 ・教科書は見やすいと感じる。また、内容は厳選されて、適切と思っている。南京事件やシンガポールでも虐殺が起こったこと等と書いてある。また、沖縄戦が詳しく書いてあることは中野区にとって良いことである。中野区は、戦後、沖縄の人たちをいっぱい迎え入れた歴史があるので、中野サンプラザや勤労福祉会館、勤労青少年会館等ができたというつながりもあるので、沖縄戦に関してよく知っていることは、中野区の人にとっては非常に重要ではないかと思う。 ・中国の侵略から始まって第二次世界大戦までという流れが１番分かりやすい。
構　成 分　量	・章ごとにまとめとしてグループ活動などができる学習課題も用意されているが、語句の見分けがちょっとつきづらい。 ・分量が多いので、読解が苦手な生徒にとっては読み進めるのは時間がかかる。
表　記 表　現	・左右ページのレイアウトの差が、全てのページが同じなので、意図してやられていることかと思うが、果たして効果があるのかは疑問が湧いた。 ・写真などの資料は大きく、非常に見やすい。 ・シンプルな印象を受ける。 ・表現は読みやすくなっているが、例示、図で示された部分は少ない印象である。 ・当時の絵が、見たことがないようなもので面白い。
使　用　上 の　便　宜	・「戦場は中国だった」とか、「村に学校ができた」というように、見出しをキャッチコピーでまとめているのは、歴史の扱い方とすると面白い。 ・教科書が大きく、子どもには扱いづらいのではないか。 ・日本の年号「昭和」等が書いていなかったので、ちょっと分かりづらい。 ・「歴史を体験する」という項目があり、綿から糸を紡ぐ等の自分で体験してみようというところがあって面白い。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードがない。 ・キーワード検索なので、あまり今時ではない感じがする。
特記すべき事項（※）	

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	社会	種　目	歴史的分野

発行者名	令和書籍株式会社
内　容　等	・教科書というイメージとなかなか違うものなので、抵抗感がある。教科書は授業を進めるツールとしてということで考えると非常に扱いづらい。 ・全体的に難しく、分かりにくい印象が感じられる。 ・歴史が好きでないと興味を持てない内容と感じ、歴史好きの人が読み進めていくのには良いが、多くの人が学ぶ教科書としてはどうかという印象を受けた。 ・教科書の題名が「国史」という題名で、ちょっと意味がよく分からなかった。 ・題名が良くない。独自の解釈があったり、憲法の成立について両論併記の形ではなく、一方的な説を記載している。また、天皇に関する内容が多く書いている印象である。 ・戦争が間違っていなかったと言いたいのではないかというふうに読み取れる。
構　成 分　量	・学年の発達の段階に応じて、適切に量を授業者のほうで調整して教えていくという工夫が必要である。
表　記 表　現	・縦書きや印刷が白黒ということで、他とは違った印象を受ける。
使用上 の便宜	・教科書が白黒で、小さいく、構成が縦書き２行になっていて、あまり読み物としては、ほかの教科の教科書との統一性があまりなく、少々異質な感じがする。 ・開きがほかの教科書と逆である。 ・装丁があまりしっかりしていないような感じで、３年間使えるのか。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードがない。
特記すべき事項（※）	

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	社会	種　目	公民的分野

発行者名	東京書籍株式会社
内　容　等	・子どもたちが身近に自分事として様々な社会のことを受け取ることができる工夫がある。また、指導者も非常に授業をやりやすい。 ・各ページに「チェック」や「トライ」等が配列されていて、使いやすい。 ・「スキル・アップ」で、主体的・対話的で深い学びを促していくような工夫がある。 ・学習のまとめで、「確かめよう」、「振り返ろう」、「深めよう」という３段階になっており、最初は語句を選んで当てはめる内容から、最後は自分で説明ができるまでステップは、自分がどこまで理解しているかが分かるようになる。 ・安定感があり、バランスが良い。 ・１８歳に向けて準備するページがあって良い。 ・「私たちの政治参加」で、「あと何年で投票できる？」というところで選挙の流れを説明しているのは良い。 ・平和の礎について、国籍や軍人、民間人の区別なく全員が刻まれている。名前が分からない人まで刻まれている。家族構成のレベルで刻まれているだけでなく、家族構成が分からない者まで刻まれているという点で、平和の礎の非常に正しい理解が書かれていることは飛び抜けて良い。
構成 分量	・グラフ、それから、ルビが非常に分かりやすく作られている構成である。 ・単元の導入資料が充実しており、見通しを立てた学習ができる。
表記 表現	・イラストを用いて図示されている部分が多く、理解を促す工夫がされている。 ・写真や図表が充実していて良い。
使用上 の便宜	・「導入の活動」、「もっと知りたい」、「まとめの活動」で、全てのテーマが統一的に扱われているので、授業の進め方としてもやりやすく、学ぶ側としても一貫性を持って学習ができる。 ・コラム等が充実しており、今のことを知るということにおいて、とても良い内容が記載されている。 ・学習のはじめの使い方や学び方も分かりやすい。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードが多くのページに配列されている。 ・デジタル教材の使いやすさという点で、見やすいのは良い。 ・デジタルコンテンツが見やすく、重要なワードをクイズ形式でチェックし、定着しやすい。
特記すべき事項（※）	・章末で「探究課題を解決しよう」があり、非常に進めやすい教科書である。 ・章ごとの探究課題が明確で、分かりやすく良い。 ・ＳＤＧｓについて、近江八幡市の建築物の保存という話があり、これは他の発行者にはないので大変良い。 ・「持続可能な社会の実現に向けて」というテーマを掲げて、現代社会の問題点として、グローバル化、情報化、少子高齢化、この３つのことについて考えていくという提起をしている。

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	社会	種　目	公民的分野

発行者名	教育出版株式会社
内　容　等	・「学習のまとめと表現」で、書かせる内容で子ども達にまとめをさせるが、公民的分野であれば、その部分だけではなく、もっと意見交換やほかの生徒の意見を聞いたりする機会を多く持てるような工夫が欲しい。 ・「確認！」、「発展」で、主体的・対話的で深い学びを促していくような工夫がある。また、思考力、判断力を伸ばす部分もある。 ・地理と歴史と同様に、「ＨＯＰ！」、「ＳＴＥＰ！」、「ＪＵＭＰ！」というふうになっていて、基礎の確認から説明ができるので、自分がどこまで理解できているのかということが分かるので良い。 ・安定感があり、バランスが良い。 ・思考ツールの紹介が公民に合っていて良い。章ごとの振り返りで具体的に使う例があって、積み重ねていくことで、ほかの学習にも生かせそうである。 ・コラムが良い。 ・中野と沖縄は非常に深い関係があるので、学習すべきと思うが、沖縄に米軍基地が集中している問題について割と大きく書かれているので、中野の人には興味を持ってもらいたいと思った。パレスチナ問題等も書かれている。 ・「ともに生きる」というテーマを掲げて、「１８歳への準備」で、憲法の３原則というものをかなり重視して、国民主権、基本的人権、平和主義、その３原則の土台が個人の尊重ということで、個人を大事にしていくという内容である。
構　成 分　量	・見通し、学習内容、まとめは明確に示されている。
表　記 表　現	・写真や図が多くて、分かりやすい。 ・「表現！」、「確認！」、「公民の窓」、「判例ファイル」というような、分かりやすさを非常に表に出している。 ・各ページの下部に、小学校や、他分野、いわゆるカリキュラムマネジメントなどという言葉があり、それとの関連性が非常にうまく表現されている。 ・統一された構成、レイアウトになっているので、視覚的なイメージを構築できる。 ・図表が分かりやすい。
使　用　上 の　便　宜	・学習の見通し、あるいはノート作りなど、学び方を非常に意識した作りである。 ・コラム等が充実しており、今のことを知るということにおいて、とても良い内容が記載されている。 ・全体を通して資料が少ないが、図は大きくて分かりやすく描かれている。 ・学び方やノートの作り方、記録のポイントがつかめることが良い。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードではクイズ形式になっているものもあり、動画などもあって、内容を理解しやすい。 ・デジタル教材で、クイズやまとめワークがあることが振り返りに良い。 ・「まなびリンク」で学習した内容をクイズ形式で確認できて、定着しやすい。
特記すべき事項（※）	・２次元コードで、ＳＤＧｓの内容があり、図で１７の目標を表示し、画面をタップすると、より深く説明をされているので、興味を持つ子はより深く学びができる。

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	社会	種　目	公民的分野

発行者名	株式会社帝国書院
内　容　等	・「アクティブ公民」で、１つひとつのテーマについて生徒がさらに深めていくというような活動が非常に促されているように考えられている。考えを整理する方法という形で、知識だけではなく、学び方を教えるというところにポイントを置いて教科書が作られている。 ・「アクティブ公民」で、思考力、判断力、表現力等、また主体的・対話的で深い学びへの配慮がされている。 ・未来志向の内容で、この先はどうなっているかという問いが多い。 ・現代的な内容が描かれているので、自分事として捉えられるように工夫されている。 ・課題についての問いかけ、それに対応した資料が充実しているため、考え方や表現の仕方に結びつけやすくなっている。 ・安定感があり、バランスが良い。 ・「１８歳への準備」ということで、「メディアリテラシー」や「契約について考えよう」等、今から考えられるような、大人になったらすぐに対応しなければいけないようなことが載っていて良い。
構　成 分　量	・資料が大きく、分かりやすい。 ・導入の学び方が、整理はされているが、若干詰め込まれているように感じた。「まとめ」は、章の中の３節を同時に振り返るという形になっていて、章全体の学びを俯瞰する方法もあるのだと感じた。 ・「よりよい社会を目指して」ということを副題にし、現代社会の問題点から政治の問題、経済の問題、国際社会を学んでいくことを最初に打ち出している。
表　記 表　現	・イラストが多用されている。 ・「基本的人権が獲得されたものである」と明言している。
使用上 の便宜	・学習の振り返りや思考ツールを使った考え方のまとめ方が面白い。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・「学習の前に」や「学習を振り返ろう」という部分のそれぞれに専用ページの２次元コードなどもあり、授業のスタイルとしては進めやすい。 ・巻末に法令集が２次元コードであり、赤文字になっているところをタップすると、細かい説明がされているので、子どもたちにとっては分かりやすい、探しやすい点が良い。
特記すべき事項（※）	

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	社会	種　目	公民的分野

発行者名	日本文教出版株式会社
内　容　等	・「チャレンジ公民」で、学習内容と自分たちが生活する現実社会との関連性をつなげていく工夫をしていける扱い方になっている。法令集があるが、どのように活用していくかは、授業者の力量や工夫次第になると感じた。 ・子どもたちが身近に自分事として様々な社会のことを受け取ることができる工夫がある。また、指導者も非常に授業をやりやすい。 ・問題演習のようなものがあるとさらにより良くなる。 ・「アクティビティ」、「深めよう」で、主体的・対話的で深い学びを促していくような工夫がある。 ・「チャレンジ公民」は、社会参画の視点をテーマにしたような題材が多く、身近な質問から話し合っていけるような内容が多い。中学校を卒業して、どんなふうに考えていくかというきっかけにもなる。 ・安定感があり、バランスが良い。 ・新聞記事の読み方、伝え方は、今の子どもたちはあまり触れず、ほかに触れる文章とはまた違うこともあり、新聞を作ることを子どもたちは学校でやっているので、そういうことに活かせそう。 ・「チャレンジ公民」で、シミュレーションもある、話合いのロールプレイ、また、その評価というものが大事であると感じた。 ・「明日に向かって」というところで、中学生が社会に参加するための手がかりが分かりやすく説明されていた。 ・民法の家族法の部分に関して比較だけをしているのが良いと思う。必要にして十分に書いてあるので、地の文に入れるよりも、民法典の比較をしてもらったほうが分かりやすいので良い。 ・「私たちの生活と政治」という小項目を上げて、個人の尊重と日本国憲法ということでの憲法の紹介、学習、それから、生活と経済、国際社会について書かれており、生活と政治、生活と経済ということで、自分たちの生活の中でそれを探してみようということが書かれている。
構　成 分　量	・資料の数が多かったり、章の初めの見通し、学び方についての記載があったり、さらには、「表現」、「確認」、「チャレンジ公民」などというように分かりやすい配列がされている教科書である。 ・文章の分量は適切で、問いに対応しているため、利便性がある。 ・「確認」、「表現」、学習課題に対応した本文ページの学習の見通しが行えるところが良い。
表　記 表　現	
使用上 の便宜	・分かりやすい資料が充実している。 ・ワークシートを活用して学習の見通しや振り返りができる。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードが多くのページにある。 ・２次元コードで確認の小テストがついており、１つが５問ぐらいを解くが、問題が分からなかったときにすぐに答えに行くのではなく、ヒントがついているので、もう１クッション自分で考えさせるというところは活用できる。 ・ポートフォリオ、ワークシート、クイズは小テスト式が楽しい。
特記すべき事項（※）	・「現代社会の問題点として」ということで、政治の問題、経済の問題、国際社会を掲げて、この中で持続可能な社会をつくっていくために考えていくことが書かれている。

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	社会	種　目	公民的分野

発行者名	株式会社自由社
内　容　等	・「新聞や読み比べてみよう」というのは、教科書とするとなかなか画期的な扱いである。 ・少し対話的な学びの内容が少ない。また、内容的にも少し難しい。 ・資料はグラフも多くて、「もっと知りたい」というコラムもあるが、読み物的な感じで少々難しい。 ・日本が良いという感じで書かれており、色々な議論がありそうなことを断言して書いている。また、家族についても、憲法に書かれていないような独自の意見がある。 ・現在の日本国憲法は押しつけられたような表現・位置づけがされている。また、憲法の原則についても、表現が色々あり、混乱しそうである。加えて、憲法改正手続きが詳細に書かれており、改正を促すような表現が見られる。
構　成 分　量	・「アクティブに深めよう」というところ、「現代日本の自画像」というところからスタートしている部分が興味深い。 ・関連のある学者や政治家の写真資料は多いが、文章の多さが気になる。
表　記 表　現	・資料はシンプルなものが多く見やすいが、国家論や家族論のようなものについて非常に多くのページを割いているので、バランスがいかがなものかということを感じた。 ・読みやすい表現であるが、例示や図で示されている部分が少ない。 ・文章が多い。 ・「大東亜戦争」という表現が気になる。また、捕虜の話を挙げて日本人の精神を説明しているのに疑問がある。
使　用　上 の　便　宜	・自分で振り返るのは難しいのではないか。 ・「ここがポイント」というところで章の重要な確認事項をまとめてあるので、学習の振り返りが見やすそうだが、少々内容が難しい。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードがない。
特記すべき事項（※）	

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	社会	種　目	公民的分野

発行者名	株式会社育鵬社
内　容　等	・シミュレーションやコラム「やってみよう」で、主体的・対話的で深い学びを促すような部分があるが、最初に公民を学ぶにはちょっと内容が深い。 ・話し合い等をやっていくという教科書の作りという感じではない。 ・地理、歴史、公民をなぜ社会科で学ぶのか、特になぜ公民を学ぶのかということが構造図を用いて３ページに書いてあり、学習の意義を考えさせることができる。 ・「学習を深めよう」の内容は良いが、振り返り自体がもうちょっとコンスタントにあると良い。 ・「効率と公正」の学びで、部活動の平日のグラウンド割というＥＸがとても身近で、子どもたちが真剣に考える題材で、色々な意見が出てきそうで面白い。 ・「学習を深めよう」というところは、本文ページと関連した内容をさらに発展的に考えることができるが、内容が少し難しい。 ・日本が良いという感じで書かれており、色々な議論がありそうなことを断言して書いている。また、家族についても、憲法に書かれていないような独自の意見がある。国旗国歌法について、独自の意見をわざわざ記載しているのも奇妙である。憲法の解釈もおかしいのではないか。 ・憲法改正について、「憲法カード」を用いて、今の時代に合わなくなっているように書かれている。例えば自由権や新しい人権を項目として挙げて、今の日本国憲法の条文には、この点についてないことや不十分な点があることが書かれている。今の憲法は押しつけという記事を載せて憲法の位置づけをしている点が非常に気になった。
構　成 分　量	・「学習を深めよう」という部分、「学びのガイド」という部分については、学習の進め方、そのテーマについて、さらに個人的にも深めていこうという活動を促している編成になっている。 ・資料の提示が多く、「確認」や「探求」、「コラム」等があり、他の発行者のような並び方で、学びやすい教科書として工夫をしている。 ・各章の学習の「入り口」で、入り方として「何々の入り口」というふうにあるのは入りやすい。
表　記 表　現	・写真や挿絵が他の発行者と比べるとかなり大きい。
使用上 の便宜	

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードにオリジナルコンテンツが少ないというところで、これから研究の余地がある。 ・２次元コードは外部リンクに飛ぶだけで、資料のみなので、もうちょっと子ども達のために解説等があると良い。 ・外部コンテンツのみで、もう少し丁寧なものがあると良い。
特記すべき事項（※）	

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	社会	種　目	地図

発行者名	東京書籍株式会社
内容等	・海の水深を色分けするだけではなくて、谷間等を段彩図のように描いていて、分かりやすいが、水深の情報は落ちている感じがする。
構成分量	・データや資料は豊富であり、見やすい構成で、情報の分量が適切に設定されている。また、全体的な構成として、地域ごとに適切にまとめられている。
表記表現	・地図の色合いが柔らかめで、見やすい。 ・見やすく、分かりやすい。 ・非常に分かりやすく、色遣いも落ち着いている印象で、シンプル。 ・色が淡色である。 ・目次の字は詰まっている感じで小さく見えるので、少々見づらい。 ・地形的な地図のほか、道路や位置的な地図が見やすい。 ・地図に特産品や名所旧跡が書いてあるが、アイコンが大き過ぎて、少ししかない印象である。アイコンがあるところとないところの差ができている感じがする。 ・イスラエルの国の拡大図があり、その中にパレスチナが赤点で囲まれており、ガザというのはここにあるということは分かりやすい。
使用上の便宜	・資料やレイアウト、空間の使い方が良く、全体的に資料として使いやすい編集である。 ・資料が少なめなイメージがある。 ・ウクライナが中心になっている地図がついていて、位置が分かりやすい。
準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードが様々な資料に配列されていることは良い。 ・比較的シンプルで、使いやすい。デジタルマップが良い。 ・サイトが見やすくて良い。他分野との関連を扱ったページができていて、学びやすい。
特記すべき事項（※）	

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	社会	種　目	地図

発行者名	株式会社帝国書院
内容等	・統計が詳しく書かれている。
構成 分量	・データや資料は豊富であり、見やすい構成で、情報の分量が適切に設定されている。また、全体的な構成として、地域ごとに適切にまとめられている。
表記 表現	・昔ながらの地図帳という感じで、資料が多く、統一感はあまりなく、ごちゃごちゃしている印象である。 ・色のコントラストがはっきりしている。 ・中京地域を例にすると、車のマークが多くある感じで良い。 ・少々色のコントラストがきつい。
使用上の便宜	・分かりやすく、見やすく、全体的に資料が大きい。地図活用のポイントのようなもの表記があり、分かりやすさを感じる。 ・同じ地域の地図に対して色々な統計的データを基にしている図が多い。また、鳥瞰図や俯瞰図的のような立体的に見るような図が見やすい。 ・文化や言語等の資料が充実している。 ・人口密度や宗教等の資料が充実している。 ・イスラエル・パレスチナという項目になっており、はっきりとパレスチナ自治区ということで赤い囲みがあって、政治体制について説明しやすい。
準拠するデジタル教材の使いやすさ	・昔の日本の地図があり、少々ステップが多かったり、それは要るかなというシンプル過ぎる絵だけのものがあったりという点が、少々残念である。 ・様々なコンテンツの２次元コードがあり、歴史、公民との関連が明確に示されている。
特記すべき事項（※）	

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	音楽	種　目	一般

発 行 者 名	教育出版株式会社
内　容　等	・巻頭の「学習ＭＡＰ」が１年間の学びの流れが見通せるようになっていて良い。育成を目指し、資質、能力と、それぞれ教材との関連性が分かるように具体的に示されていた。 ・身近な曲を入れて取り組んでおり、工夫されている。 ・意見交換ができるページがあり、工夫されている。 ・各学校の実態に合わせて効果的な教材を選べるように、多くの教材が掲載されている。 ・基礎、基本が確実に習得できるように、音楽表現に関する記号というものがまとめてある（２次元コードも同様）。 ・気がついたことを友達に紹介しながら対話的に学ぶことができる「話し合おう」の欄が設けられており、学習がしやすい。 ・思考・判断・表現力が育つような「Ａｃｔｉｖｅ！」の欄が随所にあり、学んだことや考えたことが記載できるようになっている。 ・教科書の最初のピアニストのメッセージの中で、「今どんな新しいことができるのだろう」というのが、子ども達がわくわくするのではないかという印象を持った。 ・郷土の音楽や芸能等の文化の結びつきを学ぶようなことができ、オペラやバレエ、歌舞伎であったりというところのつながりを学べることが面白い。 ・鑑賞の意見交換について、子どもたちが実際に行えれば、本当にいい授業になるのではないか。
構　　成 分　　量	・演奏者の写真とか言葉の「音楽はメッセージ」が子どもにとって興味深い。 ・「話し合おう」という欄が設けられており、ほかの人たちと意見を交わし合うことが積極的にできるのは良い。 ・扱っている楽曲が非常に多く、指導者や子ども達が取捨選択できるのが良い。 ・対話的に学べる教科書の構成である。 ・１年生の最初のほうで、音を楽しむということから始められるのが、音楽の学びの入り口として丁寧で、少しずつ楽しみ方から学んでいけることが印象的。
表　　記 表　　現	・扱っている写真は、非常に今の時代に合っている。 ・教科書が大きく見やすい構成で、柔らかい色が使われており、ユニバーサルデザインに配慮した色遣いが非常に分かりやすく良い。 ・目次が見やすい。

使用上の便宜	・教科書で使用されている用語、記号が見開きでまとまっていて、使いやすい。 ・「コンピューターで表現しよう」の単元で、コンピューターと音楽は切っても切り離せないので良い単元だが、アプリありきとなっていて、掘り下げ不足である。実際に先生が教えられる力量が必要なのではないかと感じた。
準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードが、範唱で非常に分かりやすさを感じる。 ・家庭学習で活用することができるような伴奏音源は使える。 ・ふだん見ることのできない楽器が動画でアップされており、その音を聴くことができるというのは、１つの経験になる。 ・歌の場合、曲が流れているところに歌詞が出ていて、そこに色づけで歌詞を追っていけるので、音楽が苦手な子どもでも分かりやすい。 ・曲の確認ができ、ワークシートを読み取れるので、家庭学習が進めやすい。
特記すべき事項（※）	・全体的にＳＤＧｓに関連する教材がうまく散りばめられている。

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	数学	種　目	数学

発行者名	東京書籍株式会社
内　容　等	・テーマが「つながり」ということで、社会とのつながりや数学同士のつながりを、至るところに意識させている内容である。また、１年生の最初で、１章の前に０章をつけて、算数から数学へと小学校から中学校へのなだらかな接続を意識しているので良い。 ・個別最適な学びという意味で、それぞれの生徒の進度や発達に応じて問題が充実している。 ・「学びのマップ」や補充問題等が充実している。 ・問題も、確かめや、補充など、用途によって使える問題が多数で良い。 ・「ＭＡＴＨ　ＣＯＮＮＥＣＴ」をコンセプトに、数学の発見や社会とのつながりで興味を引く内容で良い。
構　成 分　量	
表　記 表　現	・ページいっぱいの使い方は圧迫感があり、色の使い方も多過ぎるのではないか。 ・内容のポイントがつかみやすい表記である。 ・色遣いはカラフル過ぎず、工夫していて、問題に集中できる配慮が見られる。 ・インデックスが薄く、少々見にくい。 ・学習内容とポイント、重点項目等が最初に目に留まるような分かりやすいレイアウトで良い。
使　用　上 の　便　宜	・この発行者だけではないが、厚紙の展開図が巻末にあり、平面図から立体というようなものに、授業をやっている中で、指導者の準備が少なく、生徒のイメージを発展させていけるような工夫がされていて非常に良い。ただ、これは今回から始まったことではなくて、きっと前からあるのかと感じている。 ・小学校との関連も非常に良い。 ・単元の中の節ごとに基本問題のまとめがあり、分からないときに教科書の本文を見直せるようにページ数が書いてあるので、つまずきにくくなる。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・問題ごとに小まめに２次元コードがあるので、予習・復習で非常に使いやすい。 ・計算の途中の解説が丁寧で良い。「学びのベース」のヒントや解答が２次元コードになっていることも、使い分けができて良い。
特記すべき事項（※）	

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	数学	種　目	数学

発行者名	大日本図書株式会社
内　容　等	・課題学習は、数学とほかの教科との関連づけが非常に良い。 ・共同的な学びを促すような記述がよくされている。 ・日常生活との関わりを丁寧に書いている。 ・「仕事のなかの数学」というコラムがあり、実際に数学が何に使われるかを読み物としてあるのは、子どもたちが読む読み物として、興味を持てるきっかけになる。 ・問題も、確かめや、補充など、用途によって使える問題が多数で良い。 ・最初にノートの作り方を教えるのでとても良い。 ・学習した内容を使ってどういうふうに活用したり探求したりできるかということは、「仕事のなかの数学」で、自分の未来と数学のつながりについて考えることができて良い。 ・様々な数学者の話が書いてあるのは良い。 ・ランドルト環を相似で扱うだけではなて、芋煮会を相似の例として扱っており非常に面白い。「音楽と数学」も面白い。 ・王道で、比較的シンプル。
構　成 分　量	
表　記 表　現	・ページのレイアウト、空間の使い方も見やすく、色遣いも統一されていて、非常に使いやすい。 ・図やイラストなどが非常にシンプルで、「活動」や「例題」で、非常に取り組みやすい教科書のスタイルである。 ・見やすい。 ・表や式、グラフのまとめが見やすい。 ・色遣いはカラフル過ぎず、工夫していて、問題に集中できる配慮が見られる。
使用上 の便宜	・数字の動きを矢印で示しているので、分かりにくいところも、苦手な子にとっては少しでも学びやすくなるのではないか。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードは少々、量的には物足りない。
特記すべき事項（※）	・フランスのブライユの点字の話はＳＤＧｓや多様性という点で、非常に扱ってほしい内容であるため、掲載されていることは良い。

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	数学	種　目	数学

発行者名	学校図書株式会社
内　容　等	・「さらなる数学へ」という部分が、共同学習ということで、ほかの人たちとも一緒に数学を使っていくという、使える数学への発展という意味で見られているところが良い。 ・個別最適な学びという意味で、それぞれの生徒の進度や発達に応じて問題が充実している。 ・「Ｔｅａ　Ｂｒｅａｋ」等で、日常や仕事でのつながり等の内容が色々なところに散りばめられている感じがある。また、「さらなる数学へ」とか、発展とかという問題も多く、総合的に問題が多い。 ・問題も、確かめや、補充など、用途によって使える問題が多数で良い。 ・様々な数学者の話が書いてあるのは良い。
構　成 分　量	・基礎から発展まで問題が充実している ・「問題を発見しよう」、「考えよう」、「まとめよう」、「次の問題を発見しよう」、「数学的な活動をしよう」、「説明しよう」、「振り返ろう」と、どこまでも行くような学習活動に感じられ、よろしくない。
表　記 表　現	・章ごとの色分けや各章のまとめがすっきりしていて、使いやすい。 ・色遣いはカラフル過ぎず、工夫していて、問題に集中できる配慮が見られる。
使用上 の便宜	・目標や狙いが明記されているのですごく良い。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードについて、アニメーションが非常に学習のイメージを捉えやすくしているという工夫を感じた。 ・２次元コードの中のドリルのまとめで、何秒で問題を解くかを自分で設定ができるところは良い。何秒で解くかというところの設定と、付箋で隠したり、自分で入力したりすることで、問題を自分のレベルに合わせて解いていくことができるのも良い。 ・解答の振り仮名が「かいこたえ」になっており、全部に振り仮名を振っている優しさはあるが、デバッグの途中なのか、それを放置してしまっているところは、デジタルへの信頼的な意味で、少々気になる。 ・表計算ソフトの活用の仕方がとても丁寧に説明されていて、これから先、仕事に就いていくことにとても向いている。
特記すべき事項（※）	・身につけた数学の力を使って、ＳＤＧｓの目標で、自分たちは何ができるかというコンテンツがありとても良い。

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	数学	種　目	数学

発行者名	教育出版株式会社
内　容　等	・どうしてと問いを持つこと、自分で考えたり、話し合ったりして解決することの大切さの解説を入れている。あわせて、数学的な学び方、見方、考え方を丁寧に説明しながら教科書は進んでいる。 ・章末の問題は、基本の「たしかめよう」、「力をのばそう」、「学んだことを活用しよう」と段階的に多岐にわたって、個に応じた指導がしやすい。 ・学びのプロセス、学びやすさなどは、非常に扱いやすそう。 ・日常生活との関わりを丁寧に書いている。 ・「ひろがる数学」ということで、発展的な問題や「数学の広場」で発展を重視している。 ・昔からの数学の教科書で、王道である。 ・小学校からの学び、中学校への学習の変化が示されていることは分かりやすい。 ・問題も、確かめや、補充など、用途によって使える問題が多数で良い。 ・数学者さんや、気象予報士さん等、数学を使う職業の方々へのインタビューが興味深い。 ・様々な数学者の話が書いてあるのは良い。 ・「数学的な見方・考え方」で、色々なものについて、これはこういう決まりがあることを見つけることが基本で、その見つけた決まりを基にしていろいろ範囲を広げていったりするようなことが説明され、分かりやすい。
構　成 分　量	・「？はてな」、「！なるほど」、「！？だったら」という流れが面白いと思った。社会に出たときに生かせる自分の考えを広げるような、発展的な思考になるような作りである。
表　記 表　現	・見やすい。 ・色遣いはカラフル過ぎず、工夫していて、問題に集中できる配慮が見られる。
使用上 の便宜	・「工夫してノートを書こう」で、数学版のノートの取り方というところがすごく画期的で使いやすい。また、使いやすいのか使いにくいのかは一概には言えないが、このような視点は大事である。 ・狙い（目当て）が明記されていて、学習の内容をイメージしやすいので、分かりやすく、読みやすい表記である。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードが充実しており、アニメーション、動画の活用、イメージを膨らませるような工夫がある。
特記すべき事項（※）	

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	数学	種　目	数学

発 行 者 名	株式会社新興出版社啓林館
内　容　等	・表紙を開くと、ＧＩＧＡスクール構想を意識したＩＣＴの活用を前面に出し、新しい時代とのつながりを意識している。 ・最初のほうに、表現する力、課題解決の力、確かな学び、大切な数学の考え方と導入を丁寧にし、６人の仲間が一緒に学ぶような形式で３年間の学習が進んでいて学びやすい。 ・「表現する力を身につけよう」ということで、数学をさらに発展させていくことに力を置いている。 ・「数学ライブラリー」等は、興味・関心をさらに深めていける。 ・個別最適な学びという意味で、それぞれの生徒の進度や発達に応じて問題が充実している。 ・入試問題等について、少し充実して書かれている。 ・「ふりかえり」、「力をつける」、「生かす」というところで、段階をつけて発展をしていく流れである。 ・問題数及び演習量が多く、数学の力をつけるには良いが、ＡＩドリルがある中で、果たして教科書にどこまで問題量を求めるかということは難しい。 ・「ふりかえり」が充実しており、分からないことをそのままにせず、復習することの大事さがすごく分かりやすくできている。 ・「数学ライブラリー」が１７個入っており、これも興味深いので、子ども達も読んでほしい。 ・問題も、確かめや、補充など、用途によって使える問題が多数で良い。 ・誤答例とその解説があり、どうして間違えやすいのかという仕組みを知ることは大事なので、非常に良い。 ・３年生でノートの見やすさや作り方の工夫を改めて学ぶことは大事である。問題を解く以外の表現への発展等にも力を入れている。 ・「数学ライブラリー」の中で、章で学んだ数学と生活との結びつきが語られていて、とても面白い。
構　　成 分　　量	・基礎から発展まで問題が充実している。
表　　記 表　　現	・「ふわりん」がかわいらしく、時々ぽそぽそと解説を加えて面白い。 ・表現、表記が共に分かりやすく、読みやすいというイメージだが、例示が丁寧なところとそうでないところとの差がある。 ・見やすい。 ・シンプルで見やすい。 ・色遣いはカラフル過ぎず、工夫していて、問題に集中できる配慮が見られる。

使用上の便宜	
準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードが充実しており、補充問題も非常に充実している。 ・図形を動かしたり、グラフと比べられたりして、例題の解説動画がとても分かりやすい。
特記すべき事項（※）	

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	数学	種　目	数学

発行者名	数研出版株式会社
内　容　等	・入試問題等について、少し充実して書かれている。 ・補充問題と「チャレンジ編」があり、その間も必要ではないかと感じた。 ・問題も、確かめや、補充など、用途によって使える問題が多数で良い。 ・「学んだことを活用しよう」ということで、思考力や表現力の育成に活用できる。 ・巻末に読み物にあるユークリッド原論の説明が分かりづらい。
構　成 分　量	・計算の仕方はスモールステップで丁寧であり、非常に基本的な学習スタイルで良い。
表　記 表　現	・図形や文字のバランスが少し見づらい。また、イラストを吹き出しがどの学年も多過ぎるのではないか。 ・問題の中で、「ｙ」としてほしいところ、「ｘ」としてほしいところが、例題以外のところで下線や波線を引いて表しており、それが分かりやすくて良い。 ・色遣いはカラフル過ぎず、工夫していて、問題に集中できる配慮が見られる。
使　用　上 の　便　宜	・各学年の表紙の上に、「日々の学びに数学的な見方・考え方をはたらかせる」と文言が書かれており、数学をこういうふうに捉えて教科書を作っているということが分かり非常に良い。 ・狙い（目当て）が明確に示されている。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードは充実しており、補充問題から考察、探究に至るまでの幅広い活用ができる。
特記すべき事項（※）	

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	数学	種　目	数学

発行者名	日本文教出版株式会社
内　容　等	・巻末の「数学マイトライ」は、発展として数学に興味、関心を持たせる良いまとめ方である。 ・日常生活との関わりを丁寧に書いている。 ・巻末に色々なトピックのページがあり、面白そう。 ・問題も、確かめや、補充など用途によって使える問題が多数で良い。 ・誤答例とその解説があり、どうして間違えやすいのかという仕組みを知ることは大事なので、非常に良い。 ・「ふり返りシート」のようなものは不要ではないかと感じた。
構　成 分　量	・問題、解決、振り返りというような流れに着目し、活用しやすい。
表　記 表　現	・すっきりまとまっていて、色遣いもよく、効果的である。 ・目当ての表現は簡潔で、分かりやすさがある。 ・作りとしてはシンプル。 ・色遣いはカラフル過ぎず、工夫していて、問題に集中できる配慮が見られる。
使用上 の便宜	

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードは充実しており、動画、アニメーション、シミュレーションみたいな部分の豊富さがある。 ・基礎を身につけるところと図形のまとめを見るというところはすごく見やすい。 ・動画や練習問題、アプリケーションを使って自分専用のノートを作ることができるところがとても良い。
特記すべき事項（※）	

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	理科	種　目	理科

発行者名	東京書籍株式会社
内　容　等	・「Ｂｅｆｏｒｅ ＆ Ａｆｔｅｒ」等、指導者が実験や観察を生徒にさせやすい教科書である。実験や観察について、上手に配置されている。 ・既習事項との関連で、既習事項が載っているぐらいである。 ・単元ごとに「Ｂｅｆｏｒｅ ＆ Ａｆｔｅｒ」シートがあり、学習内容の考え方と、学習後の自分の考えがどう変わったのかという振り返りができることが良い。 ・何でこうなっているのかという問いから、２年生、３年生へと発展するということが良い。 ・課題解決の手順が分かりやすい。単元で探求したい内容がはっきりしていて、分かりやすい。 ・２年生の温帯低気圧の学習では、ペーパークラフトを作って、３Ｄとして学習できることが面白い。 ・実験のウエートが非常に高い。
構成 分量	・章末の「学んだことをチェックしよう」は、学習内容の整理が、確かめ問題や活用問題の量も良く、非常にいいまとめ方がされている。 ・単元が分かりやすくまとめられており、社会につながる科学というところで、科学が発展的になっていることが示されていると、興味を持つきっかけにもなる。 ・教科書の３年間の巻頭を見ると、３年間を通してつながりをもたせていることが伝わる。 ・表紙に意味もなく女性が使われていて、少々気になる。 ・身近なものから一般的なものに行く流れで、興味を引こうとしているが、身近なものの例が身近過ぎる。
表記 表現	・表紙や表紙の裏が非常に、科学の世界に導くようなイメージを持っており、単元ごとの扉の写真も見て、非常に迫力がある。 ・写真等が刷新されて、分かりやすい資料、実験、観察の手順が１ページにまとまっているというところに使いやすさを感じる。 ・写真が多く、図もあって、分かりやすい。 ・親しみやすい写真を使っている。
使用上 の便宜	・教科書の導入で探求の流れや教科書の使い方が丁寧にされていて、使いやすい。 ・教科書のサイズ等、横長の利点を非常にうまく使っている。 ・「図１」等の表記を網かけ色抜きにして、本文を読みながら、周囲にある資料がすぐに関連づけられて、非常にスムーズに学習が進んでいく工夫がされている。 ・文字の扱い方が非常に有効である。 ・「ここがポイント」というキーワードがあったのは良い。 ・実験の題材が出て、そこで同じように基本操作というページを割いているので便利である。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードについて、実験の説明が見られるというのはとても良く、各単元の内容を視覚的に捉えやすくする工夫がある。 ・２次元コードが充実している。 ・身の回りの現象で、凸レンズの像の見え方がある。３段階の光源の高さを変える設定があり、それを変えるとどういうふうに変わっていくかがすぐに分かるので、すごく見やすく、活用しやすい。 ・教科書のページ数と連動しており、振り返りに使いやすくて良い。 ・生物の体を３６０度回して見ることができて、面白い。実験の手順動画はすごくちゃんとしており、分かりやすい。
特記すべき事項（※）	・３年生の最終章に「持続可能な社会のために」があって、ＳＤＧｓの学びは３年生の最後に総合的に深められる。 ・社会の中にある疑問等からの探究というふうにつなげていくのが面白い。 ・探求の流れ、使い方は分かりやすい。 ・子どもたちにも探求をしてみようとか、流れを確認しようと呼びかけている。

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	理科	種　目	理科

発行者名	大日本図書株式会社
内　容　等	・基礎・基本を重視している。 ・特徴的なことで、章ごとに読解力問題があり、国語科との関連で、これは良い取組である。 ・読解力問題というのは、知識だけではなくて、いろいろな現象の中から理科的な見方でやっていくという点では良い視点である。 ・既習事項との関連で、既習事項はしっかり関連性を持って充実している。 ・実験や観察のところで、目的、着目点、必要なものと注意事項がはっきり書かれており、実験をする上で気をつけなくてはいけないことを周知している。
構成 分量	
表記 表現	・カラーが強過ぎており、写真や資料の入れ方が統一感に欠けている。 ・シンプルで、分かりやすく、イラストが多い。 ・紙面がつるつるで、文章だけの紙面もつるつるしており、ちかちかして、少々見にくかったことが残念。 ・普通の判なので、写真が少し小さかったり、ごちゃごちゃした感じがある。
使用上 の便宜	・実験の題材が出て、そこで同じように基本操作というページを割いているので便利である。 ・サイズがほかの教科書と少し違って、出っ張らないところが良い。また、中を見ると、ややシンプルと感じた。資料集的な感じに考えると、少々物足りない。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードについてはあまり多くない。 ・２次元コードが充実している。 ・デジタル教材は資料だけで、単元末の振り返り問題がないところは少々残念。 ・用語の使い方を動画で丁寧に説明している。
特記すべき事項（※）	・社会の中にある疑問等からの探究というふうにつなげていくのが面白い。

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	理科	種　目	理科

発行者名	学校図書株式会社
内　容　等	・基礎・基本を中心にしている。 ・「学習のまとめ」がシンプルで、非常に分かりやすい。しかし、まとめの方のコーナーで「智に働けば役に立つ」というコーナーがあるが、教科書でコマーシャルのような使い方をしていいかと非常に疑問に思った。 ・既習事項との関連で、既習事項については充実している。また、探求の方法等も充実している。 ・キャリア教育の観点から考えると、理科は実生活や実社会にも非常に役立っており、自分たちの進路を考える上では、こういうような分野での社会の職業があることを書いている教科書が増えてきたが、その観点が少々少ない。 ・やや消化不良の感がある。
構　成 分　量	・考えのプロセスが明確で、気づきと振り返りを、課題、仮説、検証、計画の中で、常に行ったり来たりすることを目的としている。
表　記 表　現	・「なぜ理科を学ぶのか」ということを導入で漫画を使って分かりやすく説明して、仮説から検証、根拠を基に判断等を分かりやすくしている導入は良い。 ・理路整然で、その章をさらに深めていくことができるまとめ方である。 ・色分けがシンプルでありながら、文章が長い。 ・紙面がつるつるで、文章だけの紙面もつるつるしており、ちかちかして、少々見にくかったことが残念。 ・裏の見返しに意味もなく女性が使われていて、少々気になる。
使用上 の便宜	・基本操作のところを全部巻末にまとめていて、少々使いにくい。 ・紙がつるつるしていて、資料集っぽい感じがする。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードは比較的分かりやすく、意識して組み込まれたものが使われている。 ・２次元コードが同じところにずっと載っているので、ここにいつも載っているということで、子どもには分かりやすい。 ・完成をしていないというところで、全部ができていないのが少々残念だが、写真はすごくきれいだったので、最終的にできたものを見られると良い。 ・「未来教科書」で、３年分をウェブページにして再構成しており、日本語の振り仮名つきのほか、６か国語ということで、新しいと思ったが、副教材として使いやすいかは不明である。 ・２次元コードは、教科書そのままだが、質問に答えてくれるコンテンツがあり、教科書に載っていないような内容について、参考になるページ等を教えてくれるので、とても良い。
特記すべき事項（※）	・探究で、気づきから課題、仮説、計画の流れとかが分かりやすく良い。

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	理科	種　目	理科

発行者名	教育出版株式会社
内　容　等	・重点と重要用語の扱い方、整理の仕方が非常にまとまっていて、分かりやすい。 ・既習事項との関連で、既習事項については充実している。また、探求の方法等も充実している。 ・実験には非常に丁寧さがある。
構　　成 分　　量	・教科書通りに教えるとなると、考察等に時間をかける物理や化学が３年生の後ろにあるのは、使いづらい構成である。
表　　記 表　　現	・図の入れ方は非常にシンプルで、分かりやすく、カラーの使い方も良い。 ・文章は簡易的で読みやすく、イラストが多く、紙面も大きいので、分かりやすい。 ・図が多くて、分かりやすい。 ・本文の重要部分のところの文字がオレンジ色で、赤シートで隠せるようにしていると思われる。 ・写真は多いが、照明が反射しにくい感じがする。 ・紙面が他の発行者より少しだけカラフルで、フォントを変えるということが、そんなにないので、見やすさが工夫されている。 ・実験ページに図がたくさんあって、色がきれいで、分かりやすい。 ・親しみやすい写真を使っている。
使　用　上 の　便　宜	・基本問題、活用問題のまとめ方も非常によく、中学生が扱いやすい。 ・実験の題材が出て、そこで同じように基本操作というページを割いているので便利である。 ・探究の進め方が一目で分かるように、折り込みが、教科書を開いた横に出るようになっており、本文を見ながらその流れが分かるように工夫されている。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードは、ほぼ全てのページにつけられており、学習内容の序説や「ＮＨＫ ｆｏｒ ｓｃｈｏｏｌ」等へのリンクが良い。ただ、実験等で活用できる記述というものがあまり見られない。 ・「要点チェック」で覚えている分と覚えていない分の振り分けができて、後から繰り返し学習することができて良い。
特記すべき事項（※）	・「探究の進め方」が各学年の巻頭に示され、折り込みになっており、振り返りながら、確認しながら勉強ができるようになっていて良い。また、疑問を持って、課題、仮説を立て、検証して、観察するような科学的な思考を分かりやすく説明している。 ・社会の中にある疑問等からの探究というふうにつなげていくのが面白い。 ・子どもたちにも探求をしてみようとか、流れを確認しようと呼びかけている。また、疑問を持とうとか、課題を持って、仮説を立ててみよう、実験、観察、その計画をしようとかと、順序立てて、こういうふうな形で探求を進めていくことを打ち出して、はっきり分かりやすく書いている。

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	理科	種　目	理科

発行者名	株式会社新興出版社啓林館
内　容　等	・既習事項との関連で、既習事項については充実している。また、探求の方法や教科書の使い方等も充実している。 ・単元の内容に沿った身近な仕事について掲載されており、将来の仕事にどういうふうに結びついているかが載っていて良い。
構　　成 分　　量	・「学習のまとめ」、「力試し」の内容の分量も非常に適切である。 ・教科書通りに教えるとなると、考察等に時間をかける物理や化学が３年生の後ろにあるのは、使いづらい構成である。
表　　記 表　　現	・章ごとに「注意イラスト」があり、保護めがねが必要である等のイラストが入っておち、実験での事故を起こさないためにしており、なかなか良いアイデアである。 ・表紙が少々おしゃれな感じがする。 ・イラストの的確さや、その見やすさがすごく良い。 ・表紙がすごくきれい。また、ペンギンの写真に代表されるように手間をかけて良い写真を集めて作っている。 ・親しみやすい写真を使っている。
使　用　上 の　便　宜	・写真が多く、探究のプロセスに沿った資料提示があり、実験、観察の手順が上手にまとめられている。 ・実験の題材が出て、そこで同じように基本操作というページを割いているので便利である。 ・発展的なことや面白い資料集のように枠からはみ出ている写真等があるような感じがして、面白く見られることに工夫がある。 ・「探Ｑシート」が巻末についており、紙・デジタルでも同じものがあるので、どちらでも活用しやすいようにしているのは良い。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードについて、既習事項の振り返り、実験内容、探究的な学習が動画等でも確認でき、非常に使いやすさ、勉強のしやすさを感じる内容である。 ・解答をするときの文字が大き過ぎて、スクロールしないと入らないので、少々使いづらい。問題の答えがすぐ出てしまうので、自分で考えるということが少し短い時間になり、使いづらい。
特記すべき事項（※）	・探究の学習に力を入れている。１年生の表紙を開くとすごく美しくて神秘的な写真があり、「探究のとびらを開いてみよう」、「探究を始めよう」、「探究とは」と、探究の学習の重要性を最初に述べている。また、章末には「学習のまとめ」、「みんなで探Ｑクラブ」とか、「探Ｑシート」なんというものもあって、その辺に力を入れている。 ・随所にＳＤＧｓに関する記述があって、問題意識を常に持たせている。 ・「探究の流れ」で全体がまとめられていて、非常に分かりやすい。 ・子どもたちにも探求をしてみようとか、流れを確認しようと呼びかけている。

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	音楽	種　目	一般

発行者名	株式会社教育芸術社
内　容　等	・音楽の学びを通して社会とどんなふうにつながるかを考える、生活や社会の中の音や音楽という特集が興味深い。 ・比較的新しい子どもたちが興味を持つような内容が取り上げられている。 ・身近な曲を入れて取り組んでおり、非常に工夫されている。 ・非常に新しい曲があり、新しいことに取り組んでいることは興味深い。 ・２・３年生のオペラ・ミュージカル・歌舞伎などの扱いが印象的で、エンターテイメントとして磨かれた音を体験するすばらしさが面白い。また、実際にそれを見に行くなど、そういうすばらしさにつながると良いと感じた。 ・雅楽について詳しくて、興味深く扱っている。 ・いろいろな観点から音をつくる、郷土に伝わる音楽や音の果たす役割、使い方が面白かった。 ・鑑賞の説明が簡単でとても分かりやすかった。 ・「コード進行」だけ書いてあり、それで曲をつけようというものがある。鑑賞とか演奏ではなく、作曲という創作活動の側面が書いてあるのはすごいと感じた。
構　成 分　量	・扱っている楽曲が非常に多く、指導者や子ども達が取捨選択を行えるのが良い。 ・両発行者とも英語やイタリア語の歌詞が載っており、語学の興味と音楽の興味が結合するので合唱することは良く、２つの発行者で比べるとその数は教育芸術社のほうが多い。 ・西洋音楽史の記載内容が必要最小限だが、良く分かるように書かれている。
表　記 表　現	・教科書の右横に「考えるポイント」が縦に示されていて、音楽的な見方や考え方を働かせて、さらに深い学びにつながる工夫がある。 ・扱っている写真は、非常に今の時代に合っている。 ・絵を多用していて分かりやすい。 ・オーケストラの写真があり、予備知識になるので、生のオーケストラを見る機会がある中野区の生徒の理解が深まりやすくなる。 ・フォントに工夫を感じる。 ・写真、図の色合いが見やすくて分かりやすい。また、楽器の名前などはカテゴリーごとに説明の文字の字体を変えてあるというところが工夫され見やすい。 ・歌うときの姿勢や声の響かせ方を図やイラストで説明してあり、分かりやすい。
使　用　上 の　便　宜	・一貫して目的が書かれているところが分かりやすい。 ・著名人が教科書の入口で掲載されており、子どもを引きつける工夫がある。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・家庭学習で活用することができるような伴奏音源は使える。 ・「魔王」の楽譜がアップされており、歌っている場所と同じ楽譜に色づけがされていて、苦手な子どもにとっては追いかけるのが分かりやすい。また、子どもたちはｉＰａｄを持って帰ってきているので、家で独りで振り返られることはすごく活用しやすい。 ・聴く、見る、ワーク、それから、創作ツールが特に面白くて充実している。 ・「カラピアノはあるが、範唱はなく」、「伴奏がないために拍子感が分かりにくかった」ということが調査研究会資料に書かれており、カラピアノだけなのはいかがなものか。
特記すべき事項（※）	・協働的な活動や深い学びを引き出す「深めよう！」ということが示されていて、探究的な学びに役立つ。 ・「Ｃｈａｌｌｅｎｇｅ！！」が探究的な学びにつながりそう。

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs

への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	音楽	種　目	器楽合奏

発行者名	教育出版株式会社
内　容　等	・ストリートピアノを取り上げながら、人と社会と未来へつなぐことを深く考えさせる教材があった。 ・ギターや琴、三味線の特徴を比較して考えてまとめる教材があるのは興味深い。 ・日本の楽器と西洋の楽器を対比させながら、いろいろな国の文化等を学習できる。 ・「ＬＥＴ’Ｓ ＰＬＡＹ ＭＵＳＩＣ！」等で、見通しが持てることが書いてある。 ・各学校の実態に合わせて効果的な教材を選ぶことができる。 ・基礎的・基本的事項を確認しながら器楽活動に取り組めるようになっている。 ・入口が丁寧で、演奏等、音楽に対して苦手意識がある生徒に寄り添う内容である。 ・学習の目的が分かりやすい。 ・「名曲旋律集」というものがすごく特徴的な感じで良い。
構成分量	・楽譜が多く、授業の中で取り扱えるものというのは限られているが、それ以外のところで興味、関心を持った子たちがさらに深めていけるような工夫がある。 ・諸外国の音楽文化や日本の楽器等について非常に分量を割いて説明されている。 ・教育出版は１つの楽器でやることがメインで、アンサンブルをやるという楽譜が少ない。
表記表現	・楽器が書いてあり、素朴なイラストである。 ・写真や絵が工夫され、見やすさ、分かりやすさという点で工夫が感じられる。 ・演奏の仕方等が写真や絵を使って書かれていて、非常に分かりやすくできている。 ・ユニバーサルデザインの配慮として、奏法の写真、楽器の扱い方の写真の背景が水色になっている。
使用上の便宜	・見開き２ページで見渡せるという工夫がされているところが非常にいい。 ・間違いやすい部分に赤色で印がつけられており、生徒が演奏をするときに気をつけることができ、演奏の基礎、基本を確実に学ぶのに有効である。 ・手元の写真等がアップで写されており、どういう指遣いをすればいいかということがすごく分かりやすい。
準拠するデジタル教材の使いやすさ	・アンサンブルをかなり取り入れている。 ・実際に音を聴けたり、生徒が個別最適な学習に即して行うことにおける工夫がされている。 ・本で書かれていることがどういうことかが、きちんと細かく説明されていて良い。
特記すべき事項（※）	・「話し合おう」という欄で対話的に学べる。

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	音楽	種　目	器楽合奏

発行者名	株式会社教育芸術社
内　容　等	・「学びのコンパス」で、３つの資質・能力と教材との関連が示されて、学びの見通しがはっきり持てる。 ・導入で、有名なドラマーの言葉の「音楽って何だろう？」ということを掲げて、興味や関心を引いている。 ・音楽を形づくっている要素についての説明ページが分かりやすく、基礎・基本を確実に習得し、学び方、考え方を習得できる役立つページがある。 ・日本古来の楽器、三味線、琴等を実際に演奏したりとかができるような内容になっており良い。
構成 分量	・写真等を多用して、音楽への興味が深まる構成をしている。 ・目次に続いて掲載されている学習内容が評価との関わりが分かりやすく掲載されており、生徒も学ぶ内容と評価との関わりが分かる。 ・アンサンブルが多数掲載されており、みんなで色々な楽器をやろうというときに使いやすい。
表記 表現	・アニメチックなイラスト。 ・写真や絵が工夫され、見やすさ、分かりやすさという点で工夫が感じられ、子ども達の興味・関心が引くようなつくりになっている。 ・中学生であろうと思われる演奏写真が巻末に使われている。 ・息のコントロールの仕方等を写真や図の注釈が分かりやすくて良い。
使用上 の便宜	・字の周りを薄いオレンジ色で囲むことで教材の目標が浮かび上がる工夫がある。 ・鑑賞の授業の資料として両方の授業で関連づけながら使える。 ・見開き２ページでの詳細な取り組みやすさがある。 ・生徒がその楽器を演奏するに当たって、写真やイラストの多さ、リコーダーの運指表などが見やすいという点で生徒が取り組みやすくする工夫がある。
準拠するデジタル教材の使いやすさ	・アンサンブルをかなり取り入れている。 ・楽器ごとのようなスタイルで多く編集され、奏法説明の充実がはかられている。 ・姿勢を動画でよく確認できる。
特記 すべき 事項 （※）	・対話的な学習に発展しやすくなるような形での工夫がある。 ・意見交換をしながら学習を進められるという書き込みの枠があり、対話的な学習を行いやすい工夫がある。

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs

への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	美術	種　目	美術

発行者名	開隆堂出版株式会社
内　容　等	・シンプルで分かりやすい内容である。 ・「学びのはじめに」という導入の部分の動画があって、これを見てから始めると、自分だけで学習しても学習に入っていける。 ・鳥獣戯画の読み解き方が面白かった。 ・デザインの意味を自分で考えることが深くできそうで面白い。 ・子どもが興味を引くアニメ等の現代アートを教材に組み入れて楽しそう。 ・水墨画や漫画、アニメの技法がきちんと書かれているということが良い。 ・写真の技法をきちんと説明している。
構　成 分　量	・文字の大きさや分量は適切である。 ・美術はどういう学びをするのかということを整理して書いており、４部門で構成され、分かりやすくなっている。
表　記 表　現	・子どもたちが写真を見て心が動くような写真のきれいさや美しさが他の発行者と比べるとやや評価が低い。 ・写真や余白が多く、見やすい。 ・写真が印象的で迫力がある。 ・余白が多めで、見る側の創造力をかき立て深めることに有用であるので、そこに狙いがあるように感じる。 ・「風神雷神図屏風」は、他の発行者と比べると、本物に１番近いと感じた。 ・建築物の写真は一考の余地がある。 ・工業用ロボットの掲載は興味を引くので良い。
使用上 の便宜	・特殊加工で印刷されている工夫がある。 ・表紙等を手で触れる工夫がある。 ・表紙が面白く、印象的。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・ワークシートが含まれており、非常に活用の幅が広いと感じた。
特記すべき事項（※）	・道徳等ほかの教科とのつながりやＳＤＧｓとのつながりが示されて、横断的な学習ができる。 ・２・３年生の最後に、「持続可能な未来へ」というところで、ＳＤＧｓについて深く掘り下げているのは良い。 ・東京の美術館が紹介をされており、子ども達が、授業の中だけではなくて、終わってから主体的に自分で美術館へ足を運んでみようというような働きかけがある。

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGsへの配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	美術	種　目	美術

発行者名	光村図書出版株式会社
内　容　等	・谷川俊太郎の「美しい」という詩が１年生の最初と２・３年生の最初にあり、国語と関連させながら学ぶことができる。 ・日本画は和紙を使って、タブレットでは捉えられない手の感触等をあえてやっているということはすばらしい。 ・冒頭の「うつくしい！を探しにいこう。」は、ハードルが低くて、幅広くて良い。 ・日本文化を多く取り上げて、深く学べる。 ・身近なデザインやロゴマーク、暮らしと密着しているような内容が自分事に置き換えられて、楽しく学べそうである。 ・エッシャーの敷き詰め模様や展開図があるのは特徴的ですばらしい。 ・写真の技法をきちんと説明している。
構成 分量	・ページの左上に何を学ぶかのタイトルがあり、分かりやすい。 ・別冊として資料を備えているので、授業の時に使いやすい。 ・別冊資料が手元にあるので、それを見てから調べてみようと思うきっかけになる。 ・見開きページでまとめられている工夫がある。 ・１年生の最初で写真があり、有名な写真家が撮影した写真が資料として掲載されており、カラーユニバーサルデザインに関する記述がある。 ・開隆堂と同様に４つ書いてあるが、一体的になっている。学習の活動としては、表現・鑑賞のそれぞれに２つの分野があって、絵と彫刻、それから、デザインと工芸というようなことで分けてあって、子どもたちにすっと入ってくると感じた。
表記 表現	・作品や説明の写真がとてもきれいで、巻頭の言葉も非常に素敵である。 ・漫画のような吹き出しの多様さが、子ども達の親しみやすさや分かりやすさにつながる。 ・吹き出しを多用し、鑑賞を深めるためのきっかけづくりや他教科との関連するような学習のアプローチをしている。 ・「風神雷神図屏風」が立体や図が幾つもあって、多角的に鑑賞できることが良い。 ・建築物の写真は一考の余地がある。
使用上 の便宜	・資料編は３年間使えて、コンパクトにまとまっている。 ・巻末の「学習を支える資料」や別紙の資料が、非常にコンパクトにまとまっていて、分かりやすく、使いやすい。 ・内容によって紙の質が変わっている。何種類かの紙で異なるサイズ等、興味を引く本の作り方をしている。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・適宜コンテンツの説明があり、適切で分かりやすい。 ・教科書に載せ切れない作品を見ることができるので、深く調べることができる。 ・別紙の資料で深めた理解をデジタル教材でフォローできるのはすばらしい。
特記すべき事項（※）	・美術が美術だけでなく、他教科とも関連づけられており、その教科だけに限らず、さらに広げていくという工夫がされている。 ・東京の美術館が紹介をされており、子ども達が、授業の中だけではなくて、終わってから主体的に自分で美術館へ足を運んでみようというような働きかけがある。 ・SDGs につながるコーナーが掲載されている。 ・国語科とのつながりで、ポスター等を作るときのコピーライティングの話があり、これだけやれば、デザイナーのちょっとした入口まで行けるのではないかという内容でとても良い。

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	美術	種　目	美術

発行者名	日本文教出版株式会社
内　容　等	・子どもたちのより身近にあるような作品が選ばれている。 ・学びの目標が適切に設定されていたり、鑑賞の入り口で考察の仕方とかを詳しく解説していることで、作品そのものを深く理解していけるような学習のアプローチがされている。 ・生徒作品が多い。 ・「学びのはじめに」という導入の部分の動画があって、これを見てから始めると、自分だけで学習しても学習に入っていける。 ・ポップアップカードを作る課題は、目的や完成が分かりやすく、苦手な生徒に示せる例があることがよかった。 ・２・３年生の写真を撮る課題は、幅広く、身近なところから、だんだんこだわりを重ねて、広く深く展開していける。 ・著名人の言葉が巻末に載っていて、興味を最初から引くような内容である。
構　成 分　量	・１年生の最初で「３年間の学びを見てみよう」があり、３年間でどんなことを学ぶかを示し、学びの見通しが立てられるのは良い。 ・２・３年生の上下巻で作品をたくさん掲載できる点で、そういう工夫の仕方もあると感じた。 ・３年間を見通したつくりで、生徒にとって分かりやすいものになっている。 ・文字量が多くて、情報量が多い。 ・２・３年生が上下巻に分かれているのは、ちょっと使いづらそう。
表　記 表　現	・作品の写真は非常に鮮やかで、見た目は引きつけるつくりである。 ・工業用ロボットの掲載は興味を引くので良い。 ・写真はきれいだが、文字や写真のバランスでレイアウトが悪いような気がする。
使用上 の便宜	・「学びを支える資料」を巻末に持ってきており、授業の時に使いやすい。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・生徒の意欲を高めるような教材「学びのはじめに」という動画が工夫されている。特に、「風神雷神図屏風」は、ただの見開きよりもぐっと迫るような動画がある。 ・導入において活用できるもの、まさに子どもたちが学びたいなと思えるようなコンテンツが多かった。 ・作品を３６０度から鑑賞できるデジタル教材があるのは良い。
特記すべき事項（※）	・東京の美術館が紹介をされており、子ども達が、授業の中だけでなく、終わってから主体的に自分で美術館へ足を運んでみようというような働きかけがある。 ・SDGs につながるコーナーが掲載されている。

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	保健体育	種　目	保健体育

発行者名	東京書籍株式会社
内　容　等	・「見つける」、「課題の解決（「発問」、「資料・本文」、「活用する」）」というステップ学習をすることで、技能の習得を非常に意識して作られている。 ・２０のスキルは、自分もちょっと持っていたいなと思えるような内容である。 ・感染症の歴史の内容が多くなったことと引き換えに、スポーツの意義の部分が少なくなっている。
構　成 分　量	・心と体の健康を守るために何を学ぶかというのが、目的が分かりやすく、一貫して出ていた。
表　記 表　現	・見開きが、１単位時間の中でこんなふうに授業を進めていくといいですよという表現で、子どもにとって非常に分かりやすい。 ・冒頭の使い方に出てくるマークが分かりやすい。
使用上 の便宜	・命や健康を守る等の内容が記載されている巻末スキルブックは役に立つと感じた。
準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードやウェブ学習が充実している。 ・動画での解説非常に分かりやすい。 ・生徒が１人１台端末を持って授業に参加し、活用する場面が多いので、その活用を意識した構成・内容で工夫されている。
特　記 すべき 事　項 （　※　）	・「私たちの未来とＳＤＧｓ」からスタートして、「テクノロジーの進化と保健体育」、「情報の活用」という記述になっており、巻末スキルブックは役に立つと感じた。

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs

への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	保健体育	種　目	保健体育

発行者名	大日本図書株式会社
内容等	・確認問題があり、技能等の習得に良い方法である。 ・けがの応急手当やＡＥＤの使い方、熱中症の知識や手当ての仕方などが詳しく載っている。 ・スポーツの意義に関することが多く掲載されているが、もう少し減らしても良いのではないか。一方で、応急処置に関する内容が少ないように感じる。 ・「誰もが健康で住みよい世界にしよう」というスローガンのようなものがあり、それに沿った内容が展開されている。心肺蘇生法等は、「誰もが健康で住みよい世界」というところを目指すと、こういう内容になると感じた。
構成分量	・２ページに単元がまとまっていて、「学習のねらい」、「つかもう」、「やってみよう」、「話し合ってみよう」とコンパクトにまとまり、１時間の流れがしっかりできている。 ・リンクマークから他ページ、他教科に関連した内容への誘導があり、点と点が線になる体験になるので良い。
表記表現	・写真や絵等の資料がものすごく多く、体育が好きだが字が苦手な子どもにも良い。
使用上の便宜	・目標や各章単元の課題が明示されているような部分、見開きの右ページが資料という形で、構成がユニバーサルになっているので、子どもたちが取り組みやすい。 ・ページの構成がきれいで見やすく、写真・印刷がきれいで、イラストを用いて、分かりやすい説明がなされていた。
準拠するデジタル教材の使いやすさ	・教科書とタブレットを併用しながら学習に取り組むことができるように、他の発行者と比べてより意識されている。 ・２次元コードやウェブ学習が充実している。 ・「中学校保健体育ＷＥＢ」で補完するというような作りで、これからの時代を先取りしていこうという思いがあるような内容で作られている。 ・デジタルで確認問題が用意されており、学習の定着が行える
特記すべき事項（※）	

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	保健体育	種　目	保健体育

発行者名	大修館書店
内　容　等	・性についての固定的な考え方に一番気づかせようとしている。 ・コラムで、「体育の窓」や「保健の窓」と非常に興味深い内容があった。 ・共生社会や多様性の重視、ストレス対処、応急手当ての部分と現代に合ったことが意識して盛り込まれている。 ・保健体育から生涯スポーツへという視点が、ニュースポーツの取上げという点では面白い。 ・様々な記述や、作成の図版等も含めて、共生社会とか多様性といったものをかなり重視している。 ・３年生の学習でのスポーツ、医療、公衆衛生への広く深い展開というのが興味深かった。 ・スポーツ選手の体験談を入れることで、興味がすぐに持てるような内容だった。 ・運動とは直接関係のないものと比較し、運動部でない子たちにも自分事として取り入れやすいような内容だった。 ・内容のバランスが取れていて、共生社会や多様性を重視した誰もが使いやすい教科書と感じる。 ・高校にもつながるベースとなることが書かれている。
構　成 分　量	・段階的に学んでいくということをかなり意識されている。 ・最初に、「国際的なスポーツ大会」が出ており、そこで子どもたちの興味を引き出そうとしていると感じた。国際的なスポーツ大会に限らず、自分達の成長と運動やスポーツというのは関連があるという説明がされている。共生社会をつくっていくためにも運動やスポーツを役立て、最後は「よりよい未来に向けて」ということで、生き方までずっと入っていく構成になっている。
表　記 表　現	・よりよい未来にはどうすればよいかということで、保体の学びに絡めて、そういうテーマの写真と合わせていて分かりやすい。
使用上 の便宜	・視認性の高いユニバーサルフォントや、見出しや文章が簡潔なので、子ども達にとって、ビジュアル的に非常に使いやすい。 ・問題がこんなにも体育にはあるのかと思うようなページが章の最後にあり、保健体育は体を動かすだけでない教科であることを感じた。 ・冒頭の教科書の使い方自体が若干分かりにくさを感じたのが少し残念。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・クイズ形式で出題が入っており、今風で面白い。また、子どもたちや授業の最後に先生が使うのにも、とても活用しやすい。
特記すべき事項（※）	・口絵のところで大きくＳＤＧｓを取り上げて、よりよい未来社会に向けていて良い。

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	保健体育	種　目	保健体育

発行者名	株式会社 Gakken
内　容　等	・コラムの「ひと・もの・こと」は読んでいくと保健体育への興味、関心が高まる。 ・少々分かりづらい。 ・高校で学習することを入れて、すぐ上の高校に進学するほとんどの生徒に対して、次の上級学級へのつながりを持たせる工夫をしている。 ・単元ごとに「話し合う活動」が入っており、「学習の課題」が書いてあるため、何を学ぶかが分かりやすい。 ・全ての単元に「学びの活用」があり、対話的な学習を行いやすい。 ・「探究しようよ！」のところで、学んだことを日常生活で生かすにはどうすればいいかという学習ができて、生活に落とし込みやすい工夫がある。 ・スポーツの意義のようなものは多いが、性教育や感染症は少なめである。また、心肺蘇生法や応急処置は図が多いので、この部分に関しては一番良い感じがする。 ・体育に関する知識と保健に関する知識がある。
構成分量	・振り返りの各種課題があって、回答がきちんと出ている。 ・文字の量が多くて、情報量がすごく多い。
表記表現	・写真と「スポーツには、世界を変える力がある。」という表現で、子どもたちに訴えかけている点が良い。 ・マークの使い方が非常に工夫されていて、「協働」マーク等が数多く使われており、段階的にいろんな技能を習得していく、発展させていく工夫がされている。 ・文字の行間がちょっと広い感じがあり、読みやすい気がする。文章が苦手な子でも良いかと思ったが、初めにタイトルがあったほうが分かりやすく、１ページの作りとしては受け入れづらい部分もある。 ・彩色自体は、ちょっと優しい色味とか、単調さがある。
使用上の便宜	・見開きが１単位２ページの構成で、見通しを持って学習ができる配慮がある。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・章ごとに「章デジ」というものが設けられていて、デジタルコンテンツの活用には力を入れ始めている。 ・デジタルコンテンツの動画で具体的な動きを確認することができる。 ・トップページがちょっと見にく過ぎたというのが残念。上部に目次があって、リンク先に飛ぶと、なぜか下にスクロールするので、少々使いにくい。目次をすっきりさせて、別のページに飛んでほしいと感じた。ワークシートのページが、プレビューで、半分下が切られているのが少々気になった。
特記すべき事項（※）	・「探究しようよ！」が章の最後にあり、色々な考えを深めることもできて良い。

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs

への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	技術・家庭	種　目	技術分野

発行者名	東京書籍株式会社
内　容　等	・導入の「技術の見方・考え方」について、非常に分かりやすく解説してあり、各分野の冒頭に見方･考え方を具体的に示して、学習の目当てをはっきりさせている。 ・学習が系統的に進められるように、基礎・基本から応用・発展へというスモールステップでの段階が見やすく、非常に使いやすい。 ・理科との関わりがあり、エネルギーの変換効率、損失、それから、電気に関するところで、その記述が充実している。 ・小学校でのプログラミングの体験を基盤として、問題解決に取り組めるようなプログラミングの問題が用意されている。また、基本ページ以外にも、学習を深めるための掲示、コラムが豊富に取り上げられている。 ・夢をかなえるための技術、その最適化という見方がよかった。 ・単元の目標がはっきりしており、課題解決まで持っていきやすく、学習がしやすい。 ・プログラミングの内容があまり良くない。 ･最初で技術科はこういう勉強をするということが少々細か過ぎて、分かりにくい。
構　成 分　量	･「生活や社会を支える技術」、「技術による問題の解決」、「社会の発展と技術」という構成でそれぞれの編があり、習っていくことが実社会と実生活に関連づけている。 ･「小学校リンク」で、今まで学習してきた内容と技術の内容が関連しているという結びつけが面白い。 ・時数の少なさが原因かも知れないが、問題からトップダウンで落ちてきて、最後に実習となっている構成は、世の中にある問題に対応できるのか疑問。
表　記 表　現	･できたらいいなという身近な例を形にしていく具体的な進め方や考え方が大変分かりやすかった。
使用上 の便宜	・使い方や冒頭のガイダンスが分かりやすくて良かった。 ･「自己評価シート」で自分の習熟度が分かりやすい。
準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードが充実している。 ･デジタルコンテンツ、２次元コードが設定されていて、理解をより確かなものに深められるようにする工夫がされている。
特　記 す　べ　き 事　項 （　※　）	･「ＳＤＧｓとＴｅｃｈｎｏｌｏｇｙ」で、持続可能な社会と技術の関連を２ページにわたって特集したページがあり、よりよい社会づくりを意識している。 ・Ｓｏｃｉｅｔｙ５．０時代のところで、今後の次の時代にどういうふうになっていくか、自分がどうしていくかというところを常に考えられるような工夫があり、すばらしい。

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs

への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	技術・家庭	種　目	技術分野

発行者名	教育図書株式会社
内　容　等	･技術の内容を実生活の中でどういうふうに関心を持たせていくかというところにコラムをうまく使って関連づけているところが特徴的である。 ･物理的な技術や情報の技術を安心･安全に使うためにということを優先している。 ・プログラミングの内容があまり良くない。
構　成 分　量	・Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｄの４つの編の後のＥ編として「夢をかなえる技術」というのを設けて、高校でも学べるようなことを学習するページがあったのが良い。 ･技術はなぜ何のためにあるのかという問いからの問題解決の流れがすごく分かりやすくて良かった。 ・単元で学ぶべき内容が最初に提示されており、分かりやすい。 ・時数の少なさが原因かも知れないが、問題からトップダウンで落ちてきて、最後に実習となっている構成は、世の中にある問題に対応できるのか。
表　記 表　現	・別冊を添えたり、紙面を大きくすることで、分かりやすい。また、イラストも多様に使われていて非常に興味深い。 ・考えさせる等のポイントになるようなワードがあるのが印象的である。 ・大きな写真が採用されており、生徒がイメージしやすく、技術の内容に興味を持てるように工夫がされている。 ・写真や画像が多く、視覚的にも分かりやすく、印刷がきれいで見やすい。
使用上 の便宜	･「スキルアシスト」が端的にまとまっていて、使いやすい。 ･「設計・計画シート」も使いやすい。
準拠するデジタル教材の使いやすさ	･「スキルアシスト」という項目で技能動画があるのは、実習を自分で確認しながら進めることができる。 ・デジタルコンテンツ、２次元コードが設定されていて、理解をより確かなものに深められるようにする工夫がされている。
特　記 すべき 事　項 （　※　）	

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs

への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	技術・家庭	種　目	技術分野

発行者名	開隆堂出版株式会社
内　容　等	・情報のセキュリティーや情報モラル等現代の課題を１番丁寧に書いている。 ・実践的・体験的な題材が取り上げられていて、課題解決を図る力を育む工夫がされている。 ・マイコンボードを使用は、時数の少なさからみても、授業が難しいのではないか。 ・最初は材料と加工から始まり、生物の育成、エネルギー変換、情報というのを入れているという説明が分かりやすい。
構成 分量	・世の中を支える技術と、自分たちが今学習している内容の関連づけから、職業観や勤労観という働くことの大切さにつなげていくような部分が非常に見られる教科書編成で面白い。 ・技術とは何か、どのようなものがあるか、これからどうなるといいのかという導入からの展開が分かりやすい。また、ＳＮＳ等の身近な技術への問いや理解が深まる学びがあり良かった。 ・時数が少ない制限を実習例の多さで解決している。
表記 表現	・１つひとつの図やイラスト、写真などが正確なイメージがあり、分かりやすく丁寧に記述されている。 ・文字が多く、情報量が多い
使用上 の便宜	・ドラえもんの秘密の道具は子どもたちの興味を引く。
準拠するデジタル教材の使いやすさ	・教科書の内容がスライド形式でまとめられており、各個人が見やすく、家庭学習でも活用ができそうである。 ・デジタルコンテンツ、２次元コードが設定されていて、理解をより確かなものに深められるようにする工夫がされている。 ・２次元コードを使い、学習内容を動画で説明しており、分かりやすく、チェック項目での習熟度の確認もしやすくて良かった。
特記 すべき 事項 （※）	

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs

への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	技術・家庭	種　目	家庭分野

発行者名	東京書籍株式会社
内　容　等	・ガイダンスを非常に丁寧にやっている。 ・食生活に力を入れており、見開きのページはどの教科も食品群のところがあるので、理科との関連でも有用である。 ・家庭分野の見方、考え方が詳しく説明されている。 ・調理と布を使った作品の製作について、非常に作品も多く、分かりやすい。 ・「幼児との触れ合い体験」のページを他の発行者よりも多く扱っているというのが特徴的である。 ・保育等の生徒に身近な内容がバランスよく盛り込まれている。 ・基礎的な内容を丁寧に取り上げている。 ・地域の郷土料理についても丁寧に扱われている。 ・アニメの絵等で男女の役割をひっくり返しているのを選んでいるが、多様な形の家族に関しての配慮がないと感じ、絵の表現だけでそれを言葉で書いていない。 ・家庭科は自立と共生ということをはっきりと言葉で打ち出している。
構　成 分　量	・単元構成の系統性が分かりやすく、内容を発展させながら読み進められ、衣・食・住のバランスがよく配置され、３編からの見通しを考えやすく作られている。 ・何を学ぶのか、何のためにあるのかという目的が分かりやすい。特に、食生活の分野で、必要な栄養素に対する食材の量の表現が写真で大きくされていたのが印象的である。また、他の発行者では初めに配置されていた家庭や家族の章が最後に来ているのが特に印象的である。 ・学習内容の順番が、中学生に必要な順で、食生活、衣生活、住生活となっており、学習ができるのが取り入れやすい。 ・家族の内容を教科書の１番後ろに回している。
表　記 表　現	・漫画やアニメを取り上げて、親しみやすくしている。
使　用　上 の　便　宜	・小学校時代の学習が十分に身についていない生徒にとって、迷ったり、つまずいたポイントを写真やイラストで分かりやすく解説しているので、基礎的な内容が丁寧にできている。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・動画ではない２次元コードだった部分があった。
特記すべき事項（※）	・裏表紙にＳＤＧｓと家庭分野の学習との関連をうまく図示しており、そこの２次元コードにはかなりＳＤＧｓの詳しい説明があり、力を入れている。 ・１番ＳＤＧｓのことに関して取り上げられていて、特集ページも組まれているため、進んで学習を深められる。

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	技術・家庭	種　目	家庭分野

発行者名	教育図書株式会社
内　容　等	・ガイダンスを非常に丁寧にやっている。 ・食生活に力を入れており、見開きのページはどの教科も食品群のところがあるので、理科との関連でも有用である。 ・「センパイに聞こう」で、社会で家庭科の分野と関係のある世界で活躍している人の話がところどころにあって良い。 ・「自分の言葉でまとめよう」というように、自分に置き換えてやっていける。 ・「調べてみよう」、「考えてみよう」、「見つめる」、「自分の言葉でまとめよう」があり、生徒が自分の課題に気づき、深められるような内容になっている。 ・社会生活のトラブルを知ることや、その予防や対策について載っているので、役立ちそうで良い。 ・アニメの絵等で男女の役割をひっくり返しているのを選んでいるが、多様な形の家族に関しての配慮がないと感じ、絵の表現だけでそれを言葉で書いていない。
構　成 分　量	・非常に作業の流れが見やすい工夫がされている。 ・単元ごとに「めあて」、「キーワード」、「ふり返る」があり、生徒自身の気づきにつながる工夫がされている。 ・章の中で小さな「めあて」や学習の振り返りが細かくあるのが良かった。 ・学ぶべき内容が最初に提示されており、分かりやすい。 ・保育のためには典型的な家族があることが前提であるかのような順番に配列されている。 ・最初に年中行事があり、私たちの暮らしは年中行事に象徴されるようなことをやっていき、その暮らしをつくるのが家庭科の学習という説明になっている。ただ、年中行事がちょっと古く、実際に子どもたちがどれだけ経験するだろうかという行事があるので、子どもたちに学習させていくという点で疑問が残る。
表　記 表　現	・漫画やアニメを取り上げて、親しみやすくしている。 ・写真や画像を多用し、視覚的にも分かりやすく、印刷がきれい。
使用上 の便宜	・シールを使ってコンテンツを考えるという工夫がある。 ・非常に見やすく、写真とかイラストがきれい。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードで、栄養価の計算ソフトがある。 ・動画があり、テーマや目当て等の重要単語が冒頭に記載されているので、分かりやすい。
特記すべき事項（※）	・ＳＤＧｓの表記自体はあるが、関連づけた資料などが提示されていないので、少々もったいない。

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	技術・家庭	種　目	家庭分野

発行者名	開隆堂出版株式会社
内　容　等	・ガイダンスを非常に丁寧にやっている。 ・食生活に力を入れており、見開きのページはどの教科も食品群のところがあるので、理科との関連でも有用である。 ・目標達成シートを取り上げて、自分で課題を決めて取り組み、自己評価ができる、それを目指す学習が良かった。 ・みんなで「やってみよう」という協働的な学びができるコーナーがある。 ・実際に実習できるように内容が分かりやすくまとまっている。 ・学習の流れが分かりやすく、最新のデータを見ながら学習することができる。 ・「生活の課題と実践」があり、生徒が自身の生活を見つめて、課題を発見したり、実践できるような内容にはなっている。 ・主体的・対話的な学びを深めることを目的であり、それが分かりやすく出ていて良かった。 ・性別役割分担がおかしいことを明言して、グラフ等を示している。 ・災害時の調理が書いてあり、大人が見てもとても役に立つ。 ・家庭科は自立と「ともに支え合う生活」ということをはっきりと言葉で打ち出している。 ・家族の多様性について、１歩先んじている。
構　成 分　量	・調理と製作について、十分な分量を取り扱っており、ほかの教科との関連性についても、特に意識して扱われている。 ・「考えてみよう」など、知識を生かして考え、表現できるような問いかけが各領域の最後に設定されている。 ・単元の学習の内容が分かりやすかった。タイトルから課題、学び、振り返りというふうに順を追って学習ができるので分かりやすい。
表　記 表　現	・紙面が１番すっきりしていて見やすい。
使用上 の便宜	

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・自学自習できるくらい教材が充実している。 ・ほかの教科と同様に独自サイトがあり、技術・家庭だけでなく、サイトがしっかりしている分、他教科と併用する方が使い方に慣れ、やりやすくなると感じた。
特記すべき事項（※）	・各領域、単元にはＳＤＧｓに関連するものはなかったので、これを入れることができそう。

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	外国語	種　目	英語

発行者名	東京書籍株式会社
内　容　等	・１年生から英語の歌を各学年に取り入れて、すごく聞く力、歌う力と。あと、１年生でスピーチ、２年生でディスカッション、３年生でミニディベートと、話す、聞くというところに力を入れていて、いい印象である。 ・多様な文化を学ぶということで、色々な文化や題材が入っていることは良い。 ・「Ｅｔｈｉｃａｌ　Ｆａｓｈｉｏｎ」について書いてあり、社会科ともつながってきたりはするが、それによっていろいろ考えて、英語で文章を作っていくことはとても面白い。 ・「ＣＡＮ－ＤＯリスト」が単元ごとにあって、振り返りができる。 ・日本国カルチャーを伝えたり、英語の歌やテイラー・スウィフトさんとかの歌、子どもたちに身近なものからほぼ学べることはとても良い。ただ、音源がない。 ・ガンジーの功績やエリック・カールさんという人の話を読める。
構　成 分　量	・各Ｕｎｉｔで、Ｕｎｉｔのゴールに向かって系統性のある学習の流れが構築できるようになっている。
表　記 表　現	・イラストや写真が多用されて、見やすく、場面設定がしやすい。 ・１年生の教科書は、２年生、３年生のものと違って、本文の字をちょっと大きくしている。
使　用　上 の　便　宜	・扱っている外国がニュージーランドやハワイ、カナダと身近な国が取り扱われていて良い。 ・英語の歌を扱っている部分がどの学年にもあり、歌を使って授業を進めていく英語の先生は比較的多いので使いやすい。 ・読み物教材の内容がとても充実しており、教えやすい。 ・学習の流れや、楽しく学べる工夫、振り返りが多い。「語順カード」等、楽しく学べる工夫が多く、特にスモールステップを感じた。少し苦手な子も少しずつ学べる。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードが非常に充実しており、生の音声を聞ける。 ・２次元コードは、言いたいことを言える本文用例検索機能あり、興味のある子には面白い。また、学習内容を基にしたゲームの活用があるのは、補充的なものにおいてもゲーム感覚でできるのが良い。 ・２次元コードが大体右上のところにずっとあって、すぐに見られる。 ･デジタルマップというものが教材の中にあり､日本地図や世界地図が入っている。その中にその地域の紹介文が英文で書いてあり、日本語訳もあって、音声を聞くこともできて、子どもたちが興味を持てるようにしている。 ･「Ｄｑｕｉｚ」をゲーム感覚で楽しく学習ができることがとても良い。
特記すべき事項（※）	

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	外国語	種　目	英語

発行者名	開隆堂出版株式会社
内　容　等	・８人の中学生がストーリー性のある展開で３年間学んで、職場体験とか、広島の修学旅行、ロボットカフェ、中村哲さんなど、生徒の発達の段階に応じた話題が非常に豊富で、興味深く学べる。 ・「音読チェック」や「できたかなゴール」ができたら塗っていくという形で、非常にワークブック的な要素である。音読のチェック方法として１つのアイデアである。 ・リーディングで、読ませる教材が入っており、内容が豊富で発展的な教材になる。 ・各プログラムにリテリングのページがあることが特有である。 ・「Ｃｏｆｆｅｅ　Ｂｒｅａｋ」の中のオノマトペの違いや日本語と英語の違いを興味深く学べる。 ・中村哲さんの話やアポロ１３号が取り上げられている。
構　成 分　量	「Ｓｃｅｎｅｓ」、「Ｐａｒｔ」、「Ａｃｔｉｏｎ」、「まとめ」の流れにより、系統性を持って学習を進められる。 ・巻末に辞書の使い方がある。
表　記 表　現	・色遣いがとてもきれい。 ・イラストと吹き出しで会話のページを構成しておりて、実際にこの人がこういう会話をして、こちらの人が返していくというイメージが湧きやすい。 ・鮮明なイラストや写真などが多く、非常に興味・関心を高められる。 ・教科書の右側に、その章のステップの位置がキャラクターがだんだん上がっていくみたいなものがあると、こんなふうにステップを踏んで、ゴールに向けて進んでいるということが分かる。 ・「世界のお菓子」というコラムで、レイアウトや写真が良くないことはあるが、世界のお菓子として例に挙げてあるものがバクラヴァとかガレトロワ等で、そもそもトルコ語と英語ということで、何を言いたいのかがよく分からない。 ・例文の主語と動詞に囲みがあり、主語や動詞を色で表していると思い、ずっと読んでいたが、「Ｔｈｅｒｅ　ｉｓ　ａ　ｓｔａｄｉｕｍ」というところで、「ｉｓ」と目的語にそれがついていて、どういう意味だったのかが分からなくなってしまったので、ないほうが良いのではないか。
使用上 の便宜	・文法資料で読む、聞く、話す、書くという流れがあり、指導しやすい。 ・本文のページの右側に音読チェックが５つあり、５回音読してねということを先生たちが伝えたいのかと感じた。 ・日本の文化を英語で紹介する等、文化や学校行事、身近なことを伝えられるようになってもらうための工夫がある。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードが非常に充実しており、生の音声を聞ける。 ・単語アプリがうまく使えると良い。 ・「Ｌｉｓｔｅｎ」では、再生速度が選択できるのはすごく良い。 ・２次元コードがずっとある。 ・単語アプリや英語すごろくはすごく楽しそうで、スモールステップとして１年生の初めに良い。 ・リスニングの問題があり、スピードの調整ができることがとても良い。
特記すべき事項（※）	

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	外国語	種　目	英語

発行者名	株式会社三省堂
内　容　等	・「Ｓｍａｌｌ　Ｔａｌｋ」ということで、１年生の早い段階から会話ができるようなことに重点を置いている。 ・時事問題等、バラエティーに富んだ内容を扱っているので、生徒が興味を持ちやすい。 ・章ごとのプロジェクトという文章を考えたり、自分で深めるところの活動というものも面白い。また、より自分の身近に感じられる内容である。 ・「ｇｏａｌ　ａｃｔｉｖｉｔｙ」等、中学校で学んだことを生かす場面が設定されている。 ・小学校で学んできたことを生かせるように、中学校での学びへとスムーズに接続できるための工夫がされている。 ・少し英語になじみがある子どもには楽しそうだが、若干導入のハードルが高め。 ・ページごとの振り返りがあり良い。 ・課題の中で、〇〇の気分のときに聴く、みんなに聴いてほしい曲等、初めて来日する友達に同行プランの提案ということで、自分が興味を持っていることを人に伝えるということを目的とするような学習が興味深くできる。 ・素材があまり魅力的ではない。 ・広島の原爆の子の像の千羽鶴の佐々木禎子さんのことについて触れている。
構　成 分　量	・「Ｓｃｅｎｅ」、「Ｔａｋｅ　Ａｃｔｉｏｎ」、「Ｒｅａｄ」、「Ｓｉｄｅ　Ｓｔｏｒｙ」と、基本から応用へきちんとした流れができている。 ・小学校からの円滑な接続が配慮されている部分は、学び直しという視点から良い。 ・「聞く」、「書く」、「アウトプット」、「発表」の流れが良い。
表　記 表　現	・文法のまとめは、色分けや一覧で、すごく見やすい。
使用上 の便宜	・小学校の復習の部分は幅の狭いページにして、いつでも振り返りやすくさせているところ良い。 ・スケートボードやカーリング等のニュースポーツを扱っていたり、車椅子バスケの鳥海連志選手を扱っていたりすることは、今までにない視点で良い。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードが非常に充実しており、生の音声を聞ける。 ・マイク機能を使って発音チェックができるという部分等、コンテンツが充実している。 ・ユニットごとに２次元コードがある。
特記すべき事項（※）	

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	外国語	種　目	英語

発行者名	教育出版株式会社
内　容　等	・Ｌｅｓｓｏｎごとの Ｐａｒｔ１、Ｐａｒｔ２の終わりに「Ｔｈｉｎｋ ＆ Ｔｒｙ」があり、学んだ内容を簡単な言語活動へ発展させるということで、話す・聞く力を高められる。 ・１年生の導入で、小学校で学んできたこととの関連づけが非常に良い。 ・リーディングの部分で、色々な読み物があり、「Ｔｈｅ Ｇｉｆｔ ｏｆ Ｔｅｚｕｋａ Ｏｓａｍｕ」等、その内容が豊富で、興味が湧きやすい。 ・新出文法、会話や文章からの読み取り、読み取った内容の要約、表にまとめること等の部分が充実している。 ・各「Ｌｅｓｓｏｎ」の目標は明確に示されていて、「Ｃａｎ－Ｄｏ自己チェックリスト」に明示されている。 ・第３学年の段階的な学習到達目標がある。 ・物語文や会話文が多くて、読解力がつきやすい。 ・素材があまり魅力的ではない。 ・手塚治虫や広島の物語がある。
構　成 分　量	・「Ｓｃｅｎｅ」、「Ｋｅｙ ｓｅｎｔｅｎｃｅ」、「Ｌｉｓｔｅｎｉｎｇ」という流れで配列されていて、系統性を持って授業を構成することができる。
表　記 表　現	・多様なイラスト、写真は本文理解の一助となっている。 ・文法は、日本語と英語の語順などが見開きになっており、色分けをしてあるので、分かりやすい。
使用上 の便宜	・教科書の上のほうに「聞く」、「読む」、「話す」、「発表する」、「書く」ということがついていて、分かりやすい。 ・ページの構成が割とテンプレートになっており、進め方の見通しが毎時間立つので、その日の学習に集中できる。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードが非常に充実しており、生の音声を聞ける。 ・アイコンで活動内容を明示してある２次元コードや身につけるべき技能が分かりやすく示されている教科書である。また、録音機能があるので、モデル音声を聞いた後に自分の音声を録音して確認できる。 ・２次元コードが大体右上のところにあり、どんなことを学ぶのかがマークで大きく示されている。今、勉強している内容が分かりやすい。 ・自分の言葉を録音する機能がついていて、確認がしやすい。
特記すべき事項（※）	・ピクトグラム、ＳＤＧｓやリサイクル、２年生のユニバーサルデザイン等、身近なものを取り扱おうとしているが、内容があまり的を得ていない。

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	外国語	種　目	英語

発行者名	光村図書出版株式会社
内　容　等	・英語をなぜ学ぶのかということを視覚的な導入で示している。 ・その場でスピーキングする「Ｌｅｔ’ｓ　Ｔａｌｋ」があり、話すことに力を入れている。また、各学年の「英語の学び方ガイド」があり良い。 ・「帯学習」が扱われていることは非常に興味深い。 ・章ごとのプロジェクトという文章を考えたり、自分で深めるところの活動というものも面白い。 ・ヴァン・カリス＝スズキさんの文章をはじめとして、最後の３年生で到達できる点ですごく高度のものが読める内容であり、このような文章が読めると非常に良い。古典的な構成ではあるが、この文章を読めるよう組み立てられている。
構成分量	・左がインプット、右側がアウトプットという流れがあり、そういう本文や活動でインプットからアウトプットに流れる動きが特徴的である。 ・小学校での学習を踏まえて配列されている。 ・ストーリー仕立てによる構成で、目的、場面、状況の３要素に触れて、「使える英語」を意識した内容となっている。 ・「英語の学び方ガイド」が巻末にあるのが面白い。こういうことだったのかという振り返りができる。 ・「世界の中学生」で、ほかの国の中学生との共通点や違うところを見つけるという興味深い単元がある。 ・「シンガポールに行きましょう」という話で、最後にエクストラの課題で、シンガポールの英語にはどんな特徴があるかを調べてみましょうというものがある。特徴がある英語を話しているので、少しだけでも聞いたことがある人を育てることは良い。
表記表現	・小学校での既習語句、表現に印がついているところが良い。 ・写真、地図などが添えてあり、一助になる。 ・没入感があるテキストである。アルファベットを書く目の前の写真の子を知ろう、何と言っているのかな、英語でつながろうという、とにかく英語のプールにドプンと入れられるような感覚があり、面白い。ただ、教え方や学ぶ方は、相性があるかもしれないと感じた。
使用上の便宜	・巻末の「英語の学び方ガイド」は充実している。 ・１番明確に文法理解をやって、そこから会話につながっているので、英語の指導者にとっては最も教えやすい。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードが非常に充実しており、生の音声を聞ける。 ・スピーキングテストや質問がランダムに提示されるコンテンツがあるので、今風で良い。 ・２次元コードがずっとあり、どんなことを学ぶのかがマークで大きく示されている。今、勉強している内容が分かりやすい。 ・本文の音声のみと映像のみだったので、もう少々文法のこと等に触れると良い。
特記すべき事項（※）	

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	外国語	種　目	英語

発行者名	株式会社新興出版社啓林館
内　容　等	・「Ｌｅｔ’ｓ　Ｔａｌｋ」や「Ｌｅｔ’ｓ　Ｌｉｓｔｅｎ」の教材を多く取り入れて、話す力・聞く力を高めることに力を入れている。 ・１年生の導入の会話の部分で、中学校へ入ってきて、そこで実際に会話をするというところで、実際の生活に非常に合っている。 ・扱われている内容が、防災体験や職場体験、お礼の手紙の書き方が職場体験に行ったお礼の手紙であるということで、非常に今の学校の内容に合っている。 ・実生活と強く結びついている課題がたくさんある。 ・３Ｄアートや世界で働くという将来に自分がつながるような興味深い学習内容があり、とても楽しそうである。 ・「オズの魔法使い」の文章をはじめとして、最後の３年生で到達できる点ですごく高度のものが読める内容であり、このような文章が読めると非常に良い。古典的な構成ではあるが、この文章を読めるよう組み立てられている。
構成 分量	・単語量や文章量が多い分、少々文字が小さく、内容量が多く感じた。一方で、説明が丁寧だという捉え方もある。 ・ページの構成が割とテンプレートになっており、進め方の見通しが毎時間立つので、その日の学習に集中できる。
表記 表現	・イラストや写真が多く、表や図などもあって、見やすい。 ・指導の一貫性としての流れが適切に図られている。 ・帯教材として使用できるページがある。
使用上 の便宜	・「Ｌｅｔ’ｓ　Ｒｅａｄ」では、「クマのプーさん」や「スノーマン」、「チャーリー・ブラウン」の作者等、子どもたちが興味を持つような教材があり、興味、関心を持って子どもたちが学べる。 ・理解度チェックの項目が４段階である。 ・ビートルズの「ハロー・グッドバイ」の歌が入っており、子ども達が楽しめる。

準拠するデジタル教材の使いやすさ	・「Ｌｅｔ’ｓ Ｌｉｓｔｅｎ」のスクリプトがきちんと巻末に載っていて、自分で復習ができるようになっている。 ・２次元コードが非常に充実しており、生の音声を聞ける。 ・新出語句、本文の音声が家庭学習に役立つ。 ・ユニットのところにあり、字がすごく書いてある。
特記すべき事項（※）	

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	道徳	種　目	道徳

発行者名	東京書籍株式会社
内　容　等	・中学生になってやってみたいことということで書くところがあるので、１年生がこれから頑張りたいことの目標を書けるのは良い。 ・「自分自身の心を見つめ、人間としての生き方を考える」とういことに注がついていて、生き方というのは人それぞれで違うから、この時間は正しい答えを見つける時間ではないということを、道徳の時間の位置づけとしてわざわざ注意書きをしている部分に共感できる。
構成分量	
表記表現	・ダイレクトに「いじめ」という言葉を出している。 ・「いじめ」と「命」だけを色分けして、いじめのテーマであることや命がテーマであるという２つの部分が強調されており、他のものでもいくつかあり、その比較が面白い。
使用上の便宜	・調査研究一覧にもあるが、「生徒の心に響く名作と言われる教材が豊富に盛り込まれ」とあるが、新しいものもどんどん入れていって、この教材を扱って、こういう授業をしたいということが残されている。 ・授業しやすい教科書である。
準拠するデジタル教材の使いやすさ	・道徳に関連したものを見つけるのはなかなか大変だが、「ＮＨＫ　ｆｏｒ　ｓｃｈｏｏｌ」へのリンクがあるのは良い。
特記すべき事項（※）	

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	道徳	種　目	道徳

発行者名	教育出版株式会社
内　容　等	・愛知県新城市の高校生の会議を取り上げることで、将来の職業選択のきっかけになりそうで良い。 ・「いじめ」、「命」、「つながり」というところで、「つながり」がテーマとして目次にある。
構成量 分	・道徳の時間は「自分自身を見つめ、学級の仲間と議論しながら、人間としてのよりよい生き方について考えましょう」とあり、学級の仲間と議論しながら道徳の授業を進めることを意識している。
表記 表現	・ダイレクトに「いじめ」という言葉を出している ・必ず学んでほしいところだと思われるが、色づけをしており、テーマが分かりやすく掲げられているのが勉強しやすい。
使用上 の便宜	・「学びの道しるべ」で、どうやってそのテーマに沿って考えていくかということが示されており、それによって教科書が編成されている。 ・授業しやすい教科書である。
準拠するデジタル教材の使いやすさ	
特記 すべき 事項 （※）	

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	道徳	種　目	道徳

発行者名	光村図書出版株式会社
内　容　等	・「見方を変えて」という発問があり、道徳は様々な考え方を持って良いということが広げられる。また、グループでの話合い等のグループ活動の進め方が示されているので、今の学校における授業の進め方に適している。 ・物語に対してどう考えていくかという具体的な問いが良い。全体を通して、自分を知る、相手を知る、それが社会になっていくが、尊重すること、されることということがとても丁寧に扱っている。
構成 分量	・「友達と話し合いながら」というところに、道徳の授業を進めるねらいがある。
表記 表現	・漫画を入れることだけが良いのではないのではないか。 ・ダイレクトに「いじめ」という言葉を出している。 ・さかなクンの「さかなのなみだ」で、会社によってイラストの色遣いが違っている。その中でも、暗いイメージがある。
使用上 の便宜	・授業しやすい教科書である。
準拠するデジタル教材の使いやすさ	・２次元コードで朗読してくれるので、本を読むのが苦手な子も聞きやすい。
特記すべき事項（※）	

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	道徳	種　目	道徳

発行者名	日本文教出版株式会社
内容等	・「よりよく生きる」をテーマに、１つの題材が少々長めだが、朗読等を音声、動画、ワークシートのようなデジタル教材でフォローでき、理解が深まる流れは良い。 ・ユニットとしていじめのテーマが何回も出てくるのが印象的である。
構成分量	・「道徳ノート」が他の発行者と比べると独自で、扱い方を教員が工夫していけることは面白い発想である。 ・１年間の学習の目次の中で、いじめに取り組むテーマを集中的に３回ほど設けている構成になっており、中野区の教育課題に対して合っている印象である。 ・「みんなで考え合う」と「みんなで」ということで、道徳の授業を進めるねらいがある。
表記表現	・ダイレクトに「いじめ」という言葉を出している。
使用上の便宜	・「道徳ノート」は、色々なノートがついていて扱いやすい一方で、既にノートに書いてある設問等が書かれているので、実際に指導を工夫する上では、予定調和的になりがちである。 ・授業しやすい教科書である。 ・別冊のノートをフリーに書けることは子どもたちが色々なものを書くのに良い。 ・「道徳ノート」は特徴を持った教材で良い。 ・道徳はマルやバツをつけるような教科ではないので、「道徳ノート」は良くない。 ・「道徳ノート」は、授業で使いやすいかもしれないが、話合いの時に一定の方向付けがされてしまうのではないか。
準拠するデジタル教材の使いやすさ	
特記すべき事項（※）	・「道徳ノート」は特徴的であるが、これを知らないまま副教材を買ってしまったら、２つノートを使ってしまう心配がある。各学校が道徳の研究をしていると、しっかりとした研究があるので、採択の際は各学校の実情と実態を把握しておく必要がある。

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	道徳	種　目	道徳

発行者名	株式会社 Gakken
内　容　等	・時代に合ったテーマをいち早く取り入れており、「深めよう」という部分が、授業としてそこがさらに、いろいろな話の中で意見が広がっていく。「クローズアップ」という部分で、表面的な内容だけでさらっと行かないで、個々の意見、いろんな意見を持って良いということが深めていける。 ・本文のタイトルの下に、「命」や「情報モラル」等のテーマが書いてあるので、本文に入る前に分かりやすい。 ・「情報モラル」が目次に強調してある。
構　成 分　量	・よりよく生きるためということで、１つの教材の後の「深めよう」ワークシートがとても良い。教材と扱い方の見せ方が幅広く、２ページのみの短編や、漫画やセリフでストーリーが進むもの等色々あり面白い。
表　記 表　現	・「いじめ」という言葉を少々ぼかしている印象である。
使用上 の便宜	・授業しやすい教科書である。
準拠するデジタル教材の使いやすさ	
特　記 すべき 事　項 （※）	

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	道徳	種　目	道徳

発行者名	あかつき教育図書株式会社
内　容　等	・「自分を見つめて考える」が、色々な意見が広がっていく工夫がされている。 ・予定調和ということに対して、生徒たちが話し合ううえで、２つの対立するような道徳的価値観をジレンマさせる内容の題材が多い。 ・「目の見えない白鳥さんとアートを見にいく」が印象的である。 ・「情報モラル」と「いじめ」と「キャリア」を強調している。
構　成 分　量	
表　記 表　現	・ダイレクトに「いじめ」という言葉を出している。
使用上 の便宜	・授業しやすい教科書である。
準拠するデジタル教材の使いやすさ	
特　記 すべき 事　項 （※）	・巻末に「ＳＤＧｓの視点」があり、女性の運転士やマータイ博士を紹介していることが印象的である。

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等

教 科 用 図 書 選 定 調 査 報 告

教科名	道徳	種　目	道徳

発行者名	日本教科書株式会社
内　容　等	・最終的なところが「考えよう」ではなく、「よりよくあるための考え方を探ろう」や「みんなにとってよりよいあり方」を考え合うということで、「よりよいあり方」に中心が置かれているので、少々色合いが違うと感じた。
構　成 分　量	・カードが独自の扱いをしているが、授業で使っていくのであれば良いが、そうでなかったときに、もう一工夫が欲しい。 ・「ウェルビーイングカード」はとても斬新で、面白い工夫がある。 ・「ウェルビーイングカード」は、授業で使いやすいかもしれないが、話合いの時に一定の方向付けがされてしまうのではないか。
表　記 表　現	・ダイレクトに「いじめ」という言葉を出している。
使用上 の便宜	・ウオーミングアップで、授業への導入部分が工夫されており良い。 ・授業しやすい教科書である。 ・４コマが全編でところどころ出てくるが、大変秀逸で、分かりやすく、深い。 ・「ウェルビーイングカード」は特徴を持った教材で良い。 ・道徳はマルやバツをつけるような教科ではなく、現場の人が少ない執筆者達が作成した「ウェルビーイングカード」は良くない。
準拠するデジタル教材の使いやすさ	
特　記 す　べ　き 事　項 （　※　）	・「ウェルビーイングカード」は特徴的であるが、各学校が道徳の研究をしていると、しっかりとした研究があるので、採択の際は各学校の実情と実態を把握しておく必要がある。

（※）地域性への配慮、探究的な学びや家庭学習での使いやすさ、対話的な学習が行いやすい工夫、SDGs への配慮等